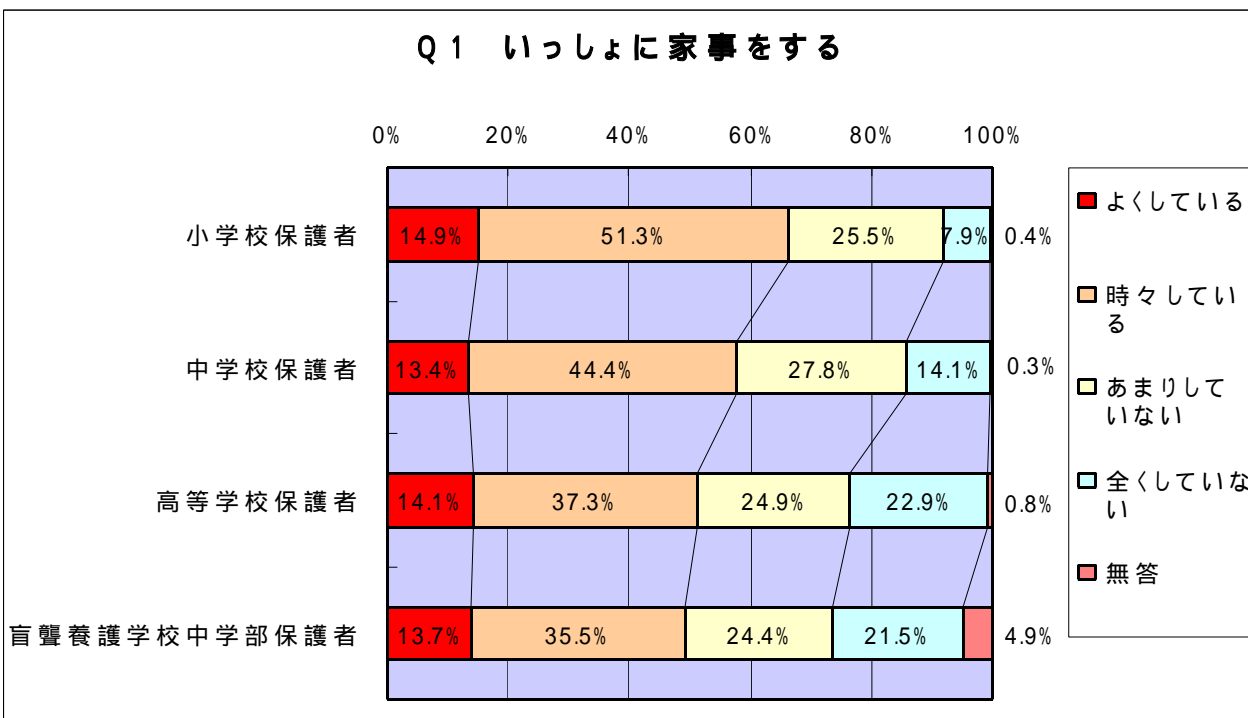


1 あなたは、平日、お子さんといっしょに次のようなことをしていますか？

小・中・高・盲聾養

Q1 いっしょに家事をする

1 よくしている	2 時々している
3 あまりしていない	4 全くしていない



小保護者では、「時々している」という回答は、5割を超え、「よくしている」と合わせた肯定的な回答の割合は、6割を超える。否定的な回答は3割を超える。

中保護者では、肯定的な回答の割合が小保護者より減少し、逆に否定的な回答が4割を超えている。

高保護者では、肯定的な回答がさらに減少し、否定的な回答が増加して、肯定的な回答と否定的な回答の割合に差がほとんどない。

盲聾養護保護者も、高保護者と似た傾向がみられる。盲聾養護保護者の「全くしていない」及び「無答」には、子供がふだん寄宿舍で生活をしているために、一緒に家事を行うことが出来ないことによる回答も含まれている。

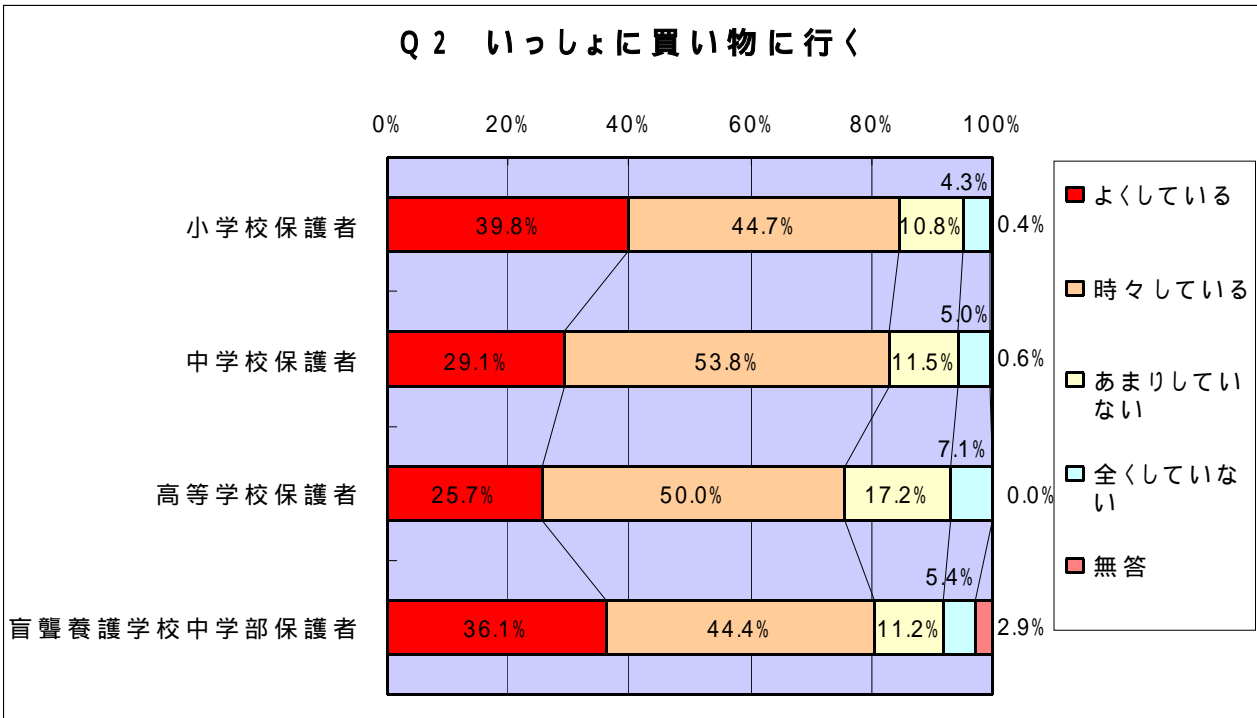
「よくしている」という回答が、小保護者から盲聾養護保護者まで、校種にかかわらず約13~15%までの間にみられる。「全くしていない」という回答が、小保護者に比べて、中保護者が2倍近くに増え、高保護者及び盲聾養護保護者ではさらに増加している。

中学生、高校生になると、小学生に比べて手伝いをしない生徒が増える傾向にあることを考えると、平日に子供と一緒に家事をする割合は、それに比例して少なくともやむを得ない結果といえる。

参考：【関連資料：児童生徒Q20「手伝うことの多い仕事は何か」】

Q2 いっしょに買い物に行く

- 1 よくしている
- 2 時々している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない



「よくしている」「時々している」という肯定的な回答を合わせると、すべての校種において、8割程度の保護者が、子供と一緒に買い物に行くと考えている。

「よくしている」という回答は、小保護者が4割いるが、中保護者、高保護者と減少し、高保護者では、約25%程度である。

「あまりしていない」という回答は、高保護者にやや多くみられ、「全くしていない」という回答は、小保護者から中保護者、高保護者と微増傾向にある。

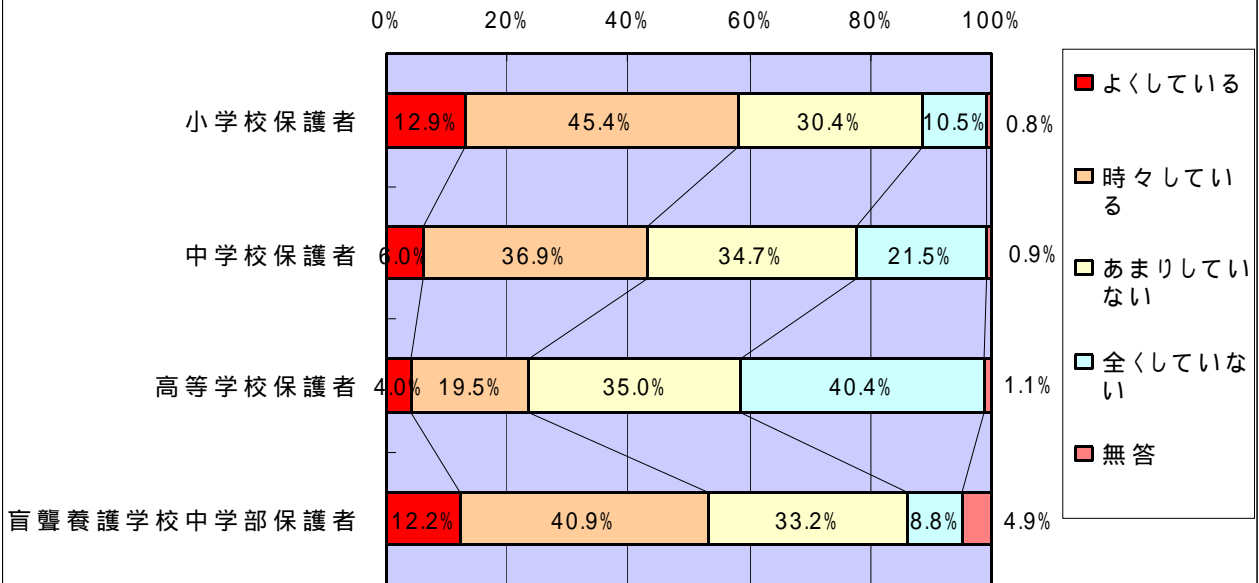
盲聾養護学校は、「よくしている」という回答が中保護者、高保護者より多く、「時々している」という回答を合わせて、全体の8割に達している。

中学生、高校生になると、親と一緒に買い物に行かなくなると思われがちであるが、この調査を見る限り、8割の親が子供と一緒に買い物に行くと考えている。その要因は何か、親と子のどちらが声をかけて買い物に行くのか等、さらに実態を把握していくことにより、親子関係がよいのか、それとも子供は買い物に目的があって一緒に行くのか、よりはっきりしてくるものと思われる。

Q3 いっしょに遊んだりスポーツをする

- 1 よくしている
- 2 時々している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

Q3 いっしょに遊んだりスポーツをする



小保護者では、「よくしている」「時々している」という肯定的な回答を合わせると、6割近くになる。否定的な回答のうち、「全くしていない」という回答の割合は1割程度みられる。

中保護者では、「よくしている」という回答の割合が、小保護者の半分に減少し、「時々している」を合わせた肯定的な回答の割合は、4割程度と半数を下回っている。「全くしていない」という回答の割合も2割を超える。

高保護者では、肯定的な回答がさらに減少し、2割を超える程度となっている。否定的な回答が7割を超え、「全くしていない」という回答の割合が4割を占める。

盲聾養護者は、全体的な割合の傾向が、小保護者に近い。肯定的な回答の割合が半数を超えている。

中学生、高校生になると、恥ずかしさとともに、交友関係の広がりや部活動等により、親と一緒に遊んだりスポーツをする時間的なゆとりがないことも想定される。

参考：【関連資料：児童生徒Q8「運動が好きか」】

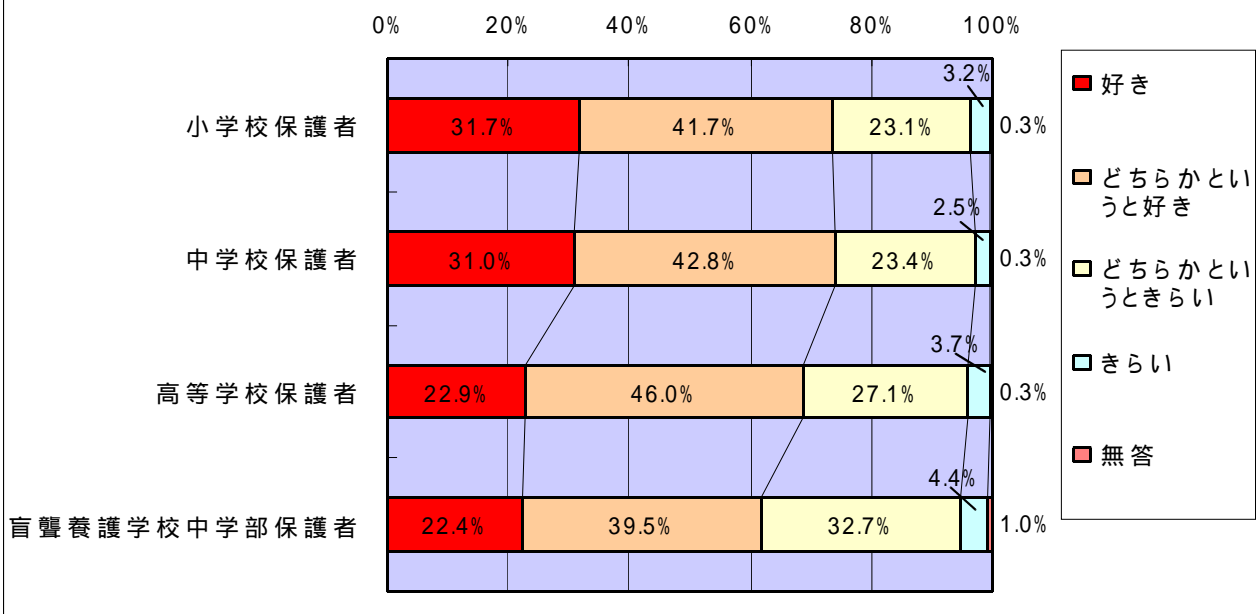
2 家庭での読書などについて、次の質問にお答えください。

小・中・高・盲聾養

Q 4 あなたは、読書が好きですか？

- 1 好き
- 2 どちらかというとき好き
- 3 どちらかというとき嫌い
- 4 嫌い

Q 4 あなたは、読書が好きですか



小保護者と中保護者の全体的な傾向が似ている。「好き」が3割、「どちらかというとき好き」4割、合わせると肯定的な回答が7割を超えている。

高保護者は、「好き」という回答が、小保護者等より少なく、逆に「どちらかといえば好き」が多く、肯定的な回答を合わせると7割近くになっている。

盲聾養護学校保護者では、「好き」が高保護者と同程度であるが、「どちらかといえば好き」がやや減少し、「どちらかというとき嫌い」が増えている。

全体的に、校種により少し違いはあるが、回答が「好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答の割合が6～7割程度であり、「どちらかといえば嫌い」「嫌い」を合わせた否定的な回答は、高保護者では約3割、盲聾養護学校保護者では4割近くみられる。

参考：【クロス集計：Q 5 「子供が読んだ本の内容について、子供と話すことがあるか」
Q 6 「子供の幼児期に本の読み聞かせをしたか」】

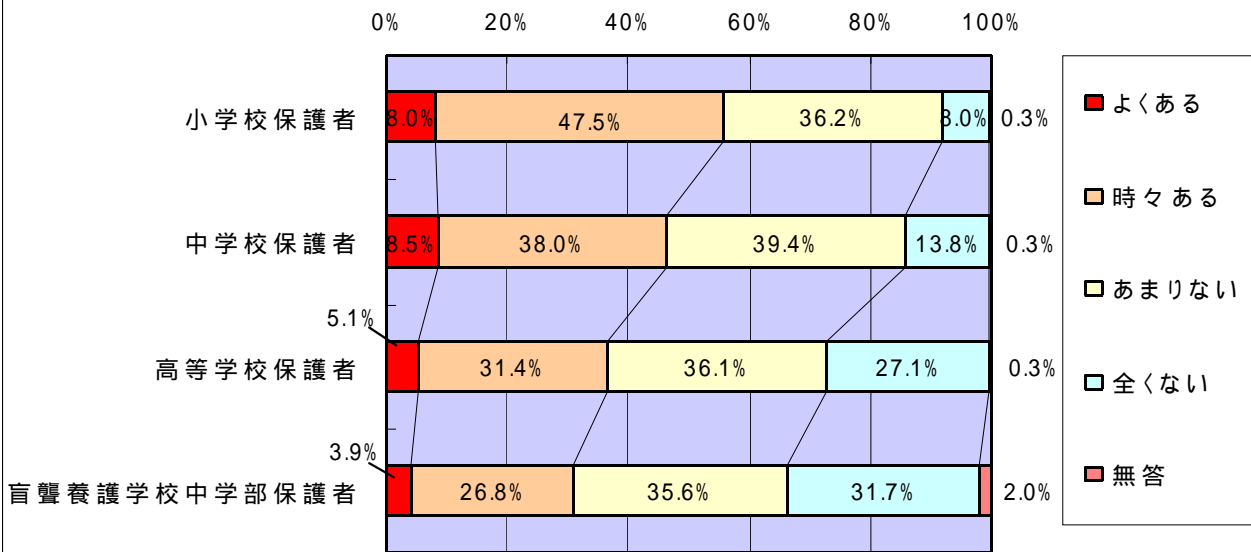
【関連資料：児童生徒Q13「ひと月に、何冊くらいマンガ以外の本を読むか」】

小・中・高・盲聾養

Q5 あなたは、お子さんが読んだ本の内容について、お子さんといっしょに話をする
ことがありますか？

- 1 よくある
- 2 時々ある
- 3 あまりない
- 4 まったくない

Q5 あなたは、お子さんが読んだ本の内容について、
お子さんといっしょに話をする
ことがありますか



全体的な傾向として、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答が、小保護者、中保護者、高保護者と進むにつれて、約55%、約46%、約36%とおよそ10%ずつ減少している。

「あまりない」という回答は、中保護者が若干多いが、約35～40%と校種による大きな違いはない。

盲聾養護保護者の傾向は、肯定的な回答が3割、「あまりない」「全くない」も3割以上みられる。高保護者の回答の割合をやや減少させた内容となっている。

小学校では親子読書等の取り組みを行っているところもあり、親子で話す機会が他の校種より多いことが考えられる。

また、児童生徒対象に行った「ひと月に読む本の冊数」の調査の結果は、この回答の傾向と同様に、小学校、中学校と進むにつれて、減少していることから、ふだんの読書の量との関連も考えられる。また、特に中学生、高校生では、読んだ本の内容を話すことが恥ずかしい年代でもあることから、このような結果がみられているのではないと思われる。

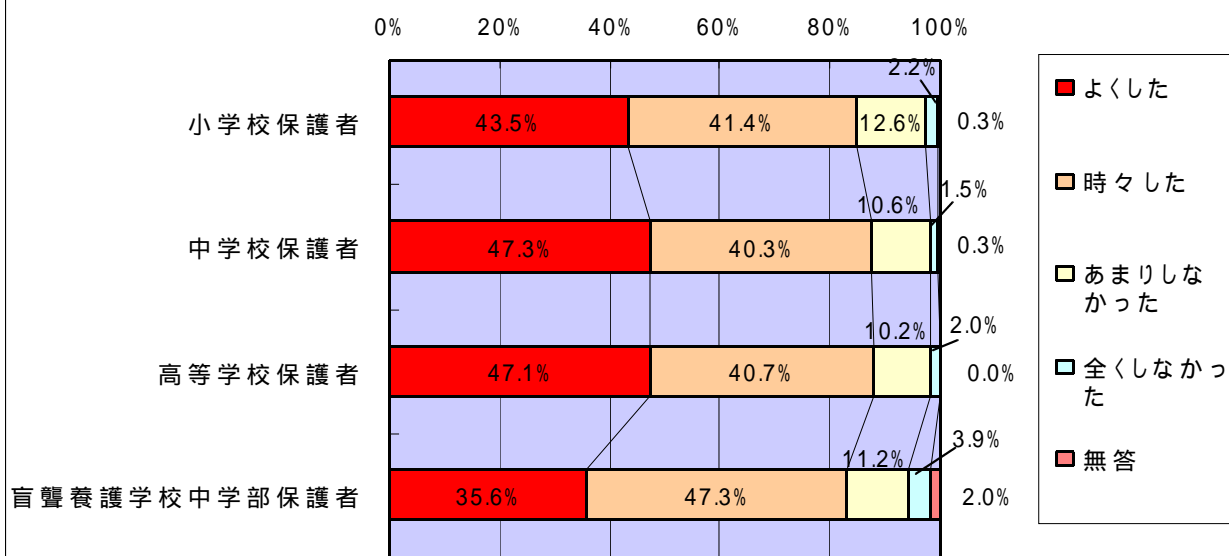
参考：【クロス集計：Q4「読書が好きか」】

【関連資料：児童生徒Q13「ひと月に、何冊くらいマンガ以外の本を読むか」】

Q 6 お子さんの幼児期に、絵本の読み聞かせをしましたか？

- 1 よくした
- 2 時々した
- 3 あまりしなかった
- 4 まったくしなかった

Q 6 お子さんの幼児期に、絵本の読み聞かせをしましたか



「よくした」という回答が、中保護者、高保護者において半数近くあり、小保護者も4割強、盲聾養護保護者も4割近くみられる。「時々した」の割合も4割を超える割合でみられ、「よくした」と合わせると、すべての校種で8割を超える保護者が肯定的な回答をしている。

「あまりしなかった」という回答は、小保護者、中保護者、高保護者、盲聾養護保護者ととも1割程度みられる。

Q 4の「読書が好きか」という調査では、小保護者、中保護者に比べて高保護者と盲聾養護保護者の「好き」という割合が少なかったが、この質問項目では、小保護者、中保護者と変わらない傾向がみられる。校種にかかわらず、ほとんどの保護者は、幼児期に本の読み聞かせをしたということがうかがえる。

参考：【クロス集計：Q 4 「読書が好きか」】

【関連資料：児童生徒Q13「ひと月に、何冊くらいマンガ以外の本を読むか」】

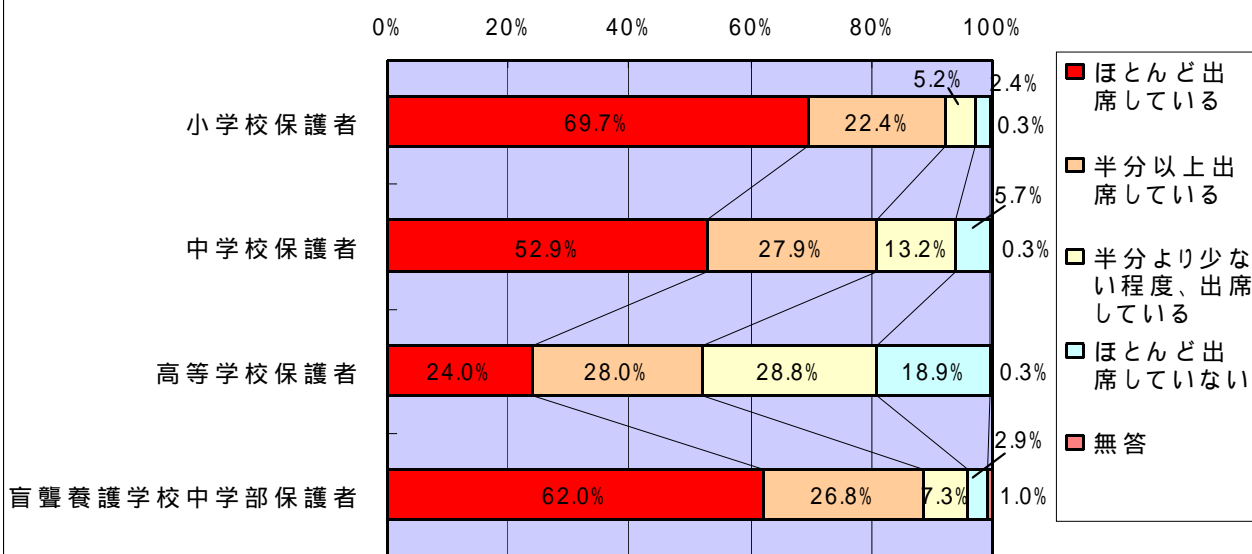
3 学校の取り組みなどについて、次の質問にお答えください。

小・中・高・盲聾養

Q7 あなたは、学校の行事や参観日等に、どの程度参加・出席していますか？

- 1 ほとんどしている 2 半分以上している
3 半分より少ない程度している 4 ほとんどしていない

Q7 あなたは、学校の行事や参観日等に、どの程度参加・出席していますか



小保護者は、「ほとんど出席している」という回答が7割近くあり、「半分以上出席している」という回答を合わせると、9割を超えている。

中保護者では「ほとんど出席している」が半数を超え、「半分以上出席している」という回答を合わせると8割を超えている。「半分より少ない程度」「ほとんど出席していない」を合わせると2割近くになる。

高保護者は、「ほとんど出席している」が約24%、「半分以上出席している」が約28%、「半分より少ない程度出席している」が約29%と回答が大きく三つに分かれている。「ほとんど出席している」「半分以上出席している」を合わせると、半数を超える程度で、中保護者の「ほとんど出席している」と同じ割合になる。「ほとんど出席していない」という回答も2割弱ある。

盲聾養護学校保護者は、「ほとんど出席」が62%、「半分以上出席している」を合わせると9割近くになり、小保護者と同程度の傾向となっている。

小学校から、中学校、高等学校と校種が進むと、出席の割合も減少していく傾向にある。保護者の関心の変容によるものなのか、また、行事や参観日の数などとも関わってくるのか、実態を把握していくことが求められる。

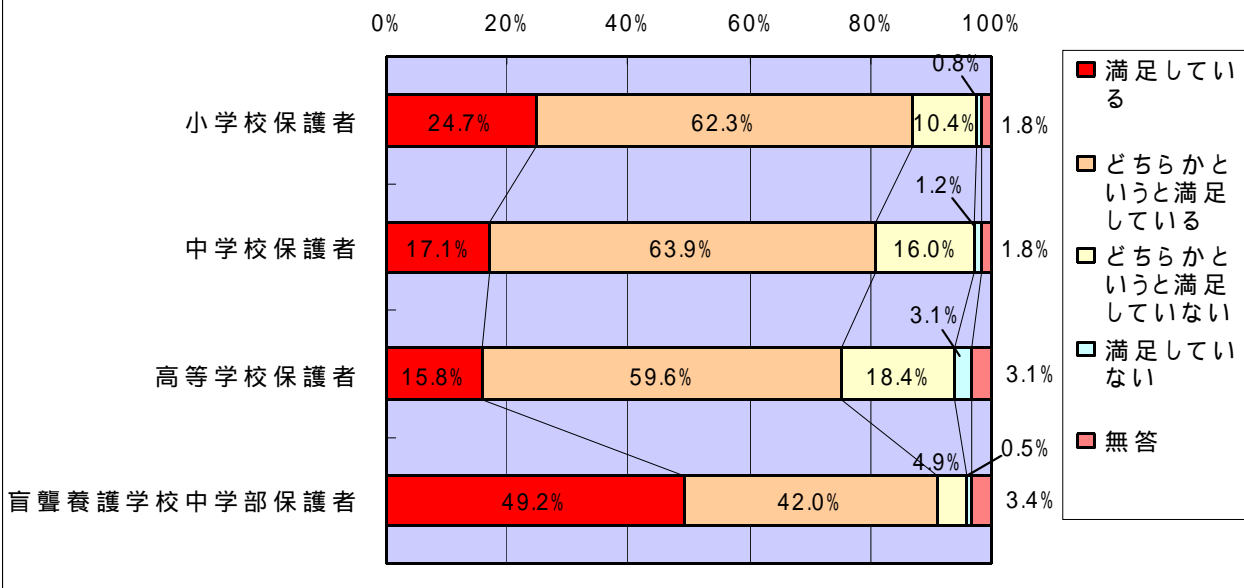
あなたのお子さんを通っている学校で行われている次のQ 8～Q15のような取り組みや指導について、現在どの程度満足していますか？

小・中・高・盲聾養

Q 8 子供が人間的に成長するのを助けること

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q 8 子供が人間的に成長するのを助けること



小保護者では、「満足している」という回答は、全体の1/4ほどで、「どちらかという満足している」という回答を合わせると、9割近くなり、ほとんどの保護者が満足している傾向にある。

中保護者では、「満足している」が、小保護者よりやや少ないが、「どちらかという満足している」と合わせると8割を占めている。

高保護者は、中保護者よりやや肯定的な回答がそれぞれ少しずつ少ない割合ではあるが、7割を超える保護者が、肯定的に回答している。

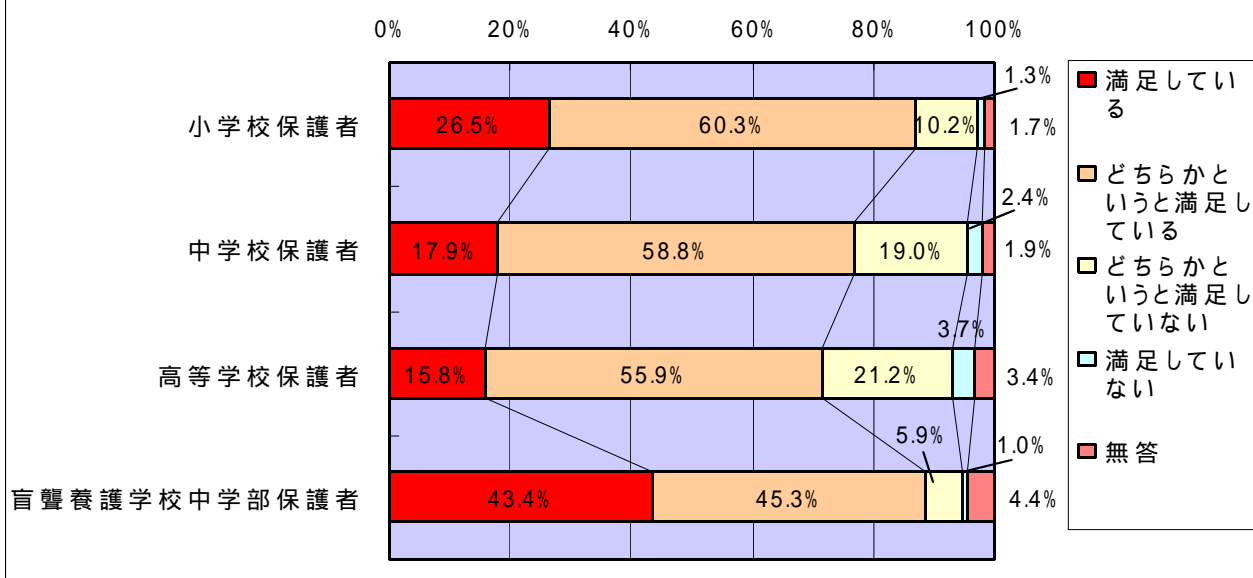
盲聾養保護者は、「満足している」という回答が全体の半数近くに及び、「どちらかという満足している」と合わせると9割を超える。「満足している」という回答の多さは、小保護者の2倍である。

どの校種においても、おおむね満足している傾向がみられ、特に盲聾養護学校における人間的な成長に係る教育活動が、保護者に十分な満足を提供していることがうかがえる。

Q 9 子供の豊かな感性ややさしい心を育むこと

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q 9 子供の豊かな感性ややさしい心を育むこと



小保護者では、「満足している」という回答は、全体の1/4を超え、「どちらかという満足している」という回答を合わせると、9割近くなり、ほとんどの保護者が満足している傾向にある。

中保護者では、「満足している」が、小保護者よりやや少ないが、「どちらかという満足している」と合わせると8割近い割合となっている。

高保護者は、中保護者よりやや肯定的な回答がそれぞれ少しずつ少ないが、7割を超える保護者が、肯定的に回答している。

盲聾養護学校は、「満足している」という回答が4割を超え、「どちらかという満足している」と合わせると9割近くになる。

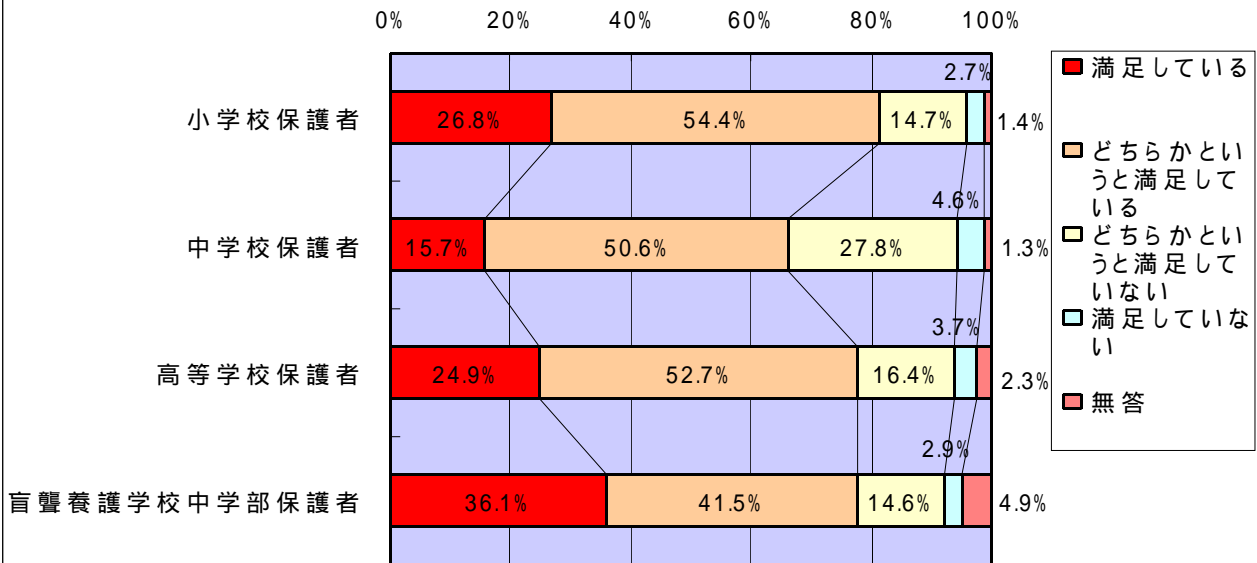
「満足していない」「どちらかという満足していない」という否定的な回答の割合が、中保護者、高保護者では2割を超えており、「感性ややさしい心」を育む取り組みには十分満足していない保護者も5人に一人の割合でいることがうかがえる。

どの校種においても、ほとんどの保護者が、おおむね満足している傾向がみられ、特に、盲聾養護学校における感性ややさしい心を育む教育が保護者に十分な満足を提供していることがうかがえる。

Q10 基礎的な学力をつけるための適切な学習指導をすること

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q10 基礎的な学力をつけるための適切な学習指導をすること



小保護者では、「満足している」という回答は、全体の1/4程度みられ、「どちらかという満足している」という肯定的な回答の割合を合わせると8割を超えており、保護者はおおむね満足していることがうかがえる。否定的な回答も2割弱みられる。

中保護者では、「満足している」が、小保護者より10%以上少なく、「どちらかという満足している」と合わせると7割弱の肯定的な回答となっている。一方で、「どちらかといえば満足していない」とする回答が約28%みられ、「満足していない」と合わせると、約32%となり、他の校種の回答と比較しても多い傾向にある。

高保護者では、小保護者と似た傾向がみられる。「満足している」という回答は、全体の1/4程度みられ、「どちらかという満足している」という肯定的な回答の割合を合わせると8割近い。

盲聾養護保護者は、「満足している」という回答が3割を超え、「どちらかという満足している」と合わせると8割近くになる。「満足している」という回答の割合が、他の校種より多い。

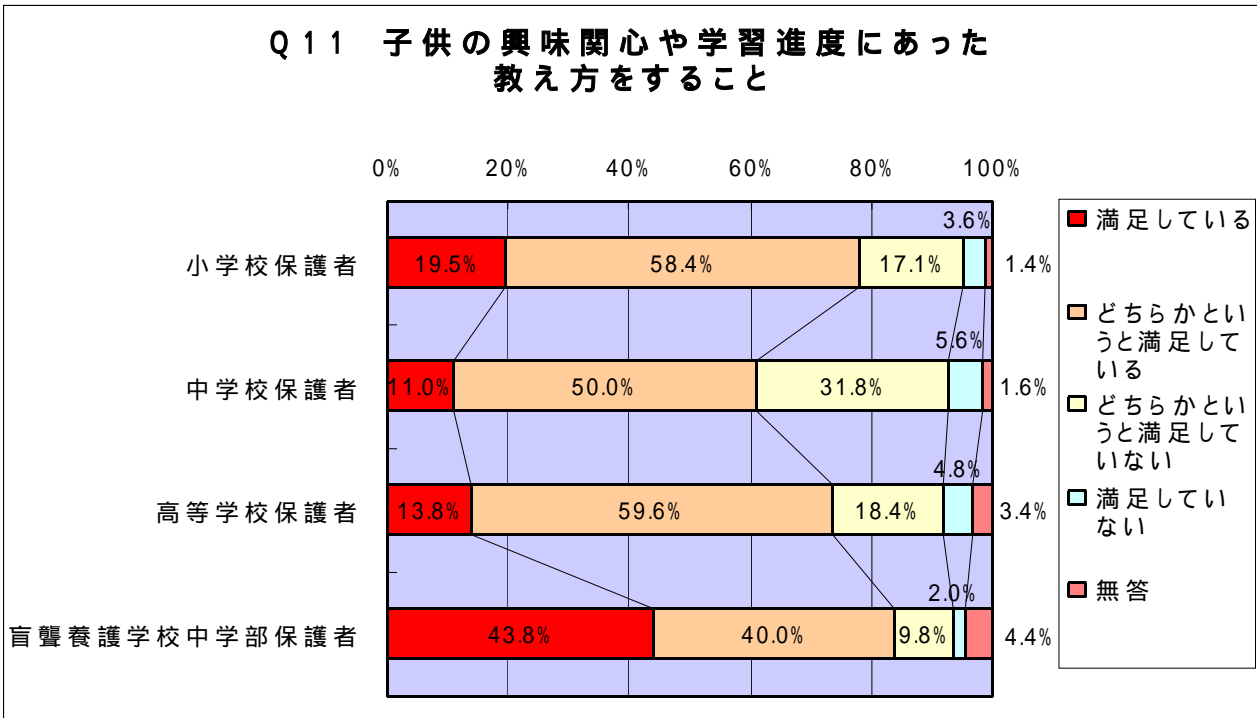
この設問における満足度は、小保護者、高保護者、盲聾養護保護者で8割近い満足度であるが、中保護者については、やや低い傾向がみられる。その要因について、実情を把握しておくことが求められる。

参考：【クロス集計：Q19「完全学校週5日制等による学力への影響についてどう感じているか」】

【関連資料：保護者Q19「週5日制等による学力への影響についてどう感じているか」
担任Q25「週5日制等による学力への影響についてどう感じているか」】

Q11 子供の興味関心や学習進度にあった教え方をすること

- 1 満足している 2 どちらかという満足している
3 どちらかという満足していない 4 満足していない



小保護者では、「満足している」という回答は、2割程度であり、「どちらかという満足している」という肯定的な回答を合わせると8割に届かないが、保護者がおおむね満足している傾向にある。否定的な回答は、約2割みられる。

中保護者では、「満足している」が、約1割で、全体の半数が回答している「どちらかという満足している」を合わせると6割の肯定的な回答となっている。一方で、「どちらかといえば満足していない」とする回答が3割を超え、他の校種の回答と比較しても多い傾向にある。

高保護者は、「満足している」が、約14%で、約60%の「どちらかという満足している」を合わせると7割を超える保護者が肯定的な回答をしている。否定的な回答は2割を超える。

盲聾養護学校は、「満足している」という回答が4割を超え、「どちらかという満足している」と合わせると8割近くになり、肯定的な回答の割合は小保護者を超えている。

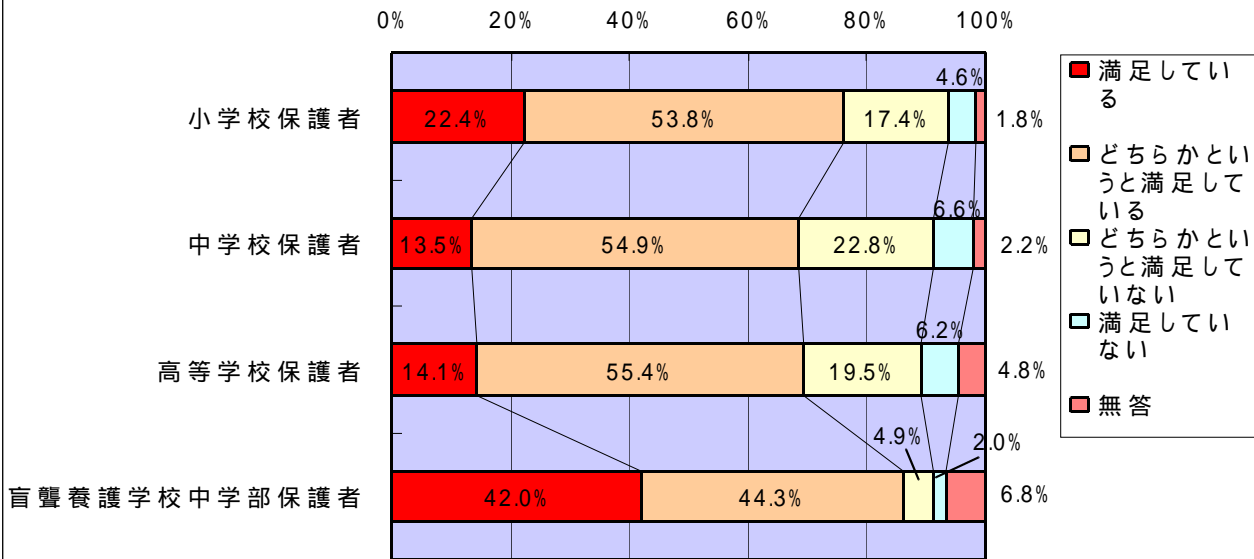
この設問における満足度は、小保護者、高保護者、盲聾養護学校と比べ、中保護者については、低い傾向がみられる。前問Q10と同じ傾向がみられることから、学習指導に対する保護者の意見等を把握し、この結果の要因に迫っていくことが求められる。

参考：【関連資料：保護者Q10「基礎的な学力をつけるための適切な学習指導をすること」】

Q12 いじめや友だち同士のトラブルへの対応

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q12 いじめや友だち同士のトラブル等への対応



小保護者では、「満足している」という回答が2割を超え、「どちらかという満足している」という肯定的な回答を合わせると8割近く、保護者がおおむね満足している傾向にある。否定的な回答は2割を超える。

中保護者では、「満足している」が、約14%で、約55%が回答している「どちらかという満足している」を合わせると全体の7割近くが肯定的な回答となっている。一方で、「どちらかといえば満足していない」とする回答が2割を超え、「満足していない」という回答を合わせると3割近い。

高保護者は、中保護者と似た傾向がみられる。「どちらかといえば満足していない」とする回答も2割近い。「満足していない」という回答を合わせると全体の1/4を超える。

盲聾養護保護者は、「満足している」という回答が4割を超え、他の校種よりも目立って多い。「どちらかという満足している」と合わせると8割近くになり、肯定的な回答の割合は小保護者を超えている。

この設問における満足度は、中保護者及び高保護者に、やや低い傾向がみられる一方、特に、盲聾養護学校における対応が保護者に十分な満足を提供していることがうかがえる。

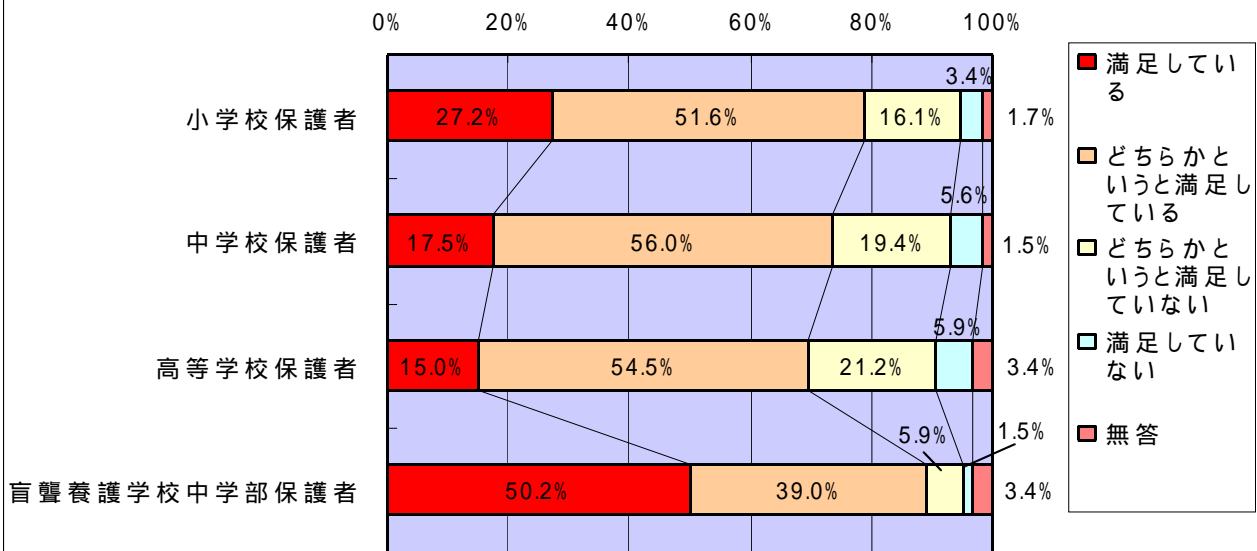
小学校も含め、中学校、高等学校における校内体制や組織運用等について、改めて確認し、必要に応じて改善していくことが求められる。

参考：【クロス集計：Q13「保護者が気軽に質問したり相談したりできること」】

Q13 保護者が気軽に質問したり相談したりできること

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q13 保護者が気軽に質問したり相談したりできること



小保護者では、「満足している」という回答が約27%で、「どちらかという満足している」という肯定的な回答を合わせると8割に届かないが、保護者がおおむね満足している傾向にある。否定的な回答は2割弱である。

中保護者では、「満足している」が、約17%で、「どちらかという満足している」と回答している約56%を合わせると全体の7割を超える保護者が肯定的な回答をしている。一方で、「どちらかといえば満足していない」とする回答が2割近くおり、「満足していない」という回答を合わせると、全体の1/4になる。

高保護者は、中保護者に近い傾向がみられる。肯定的な回答は、全体の7割である。「どちらかといえば満足していない」「満足していない」という回答を合わせると約27%で、小保護者の「満足している」という回答を同じ割合である。

盲聾養保護者は、「満足している」という回答が5割を超え、「どちらかという満足している」と合わせると9割近くになる。肯定的な回答の割合は小保護者を超過している。

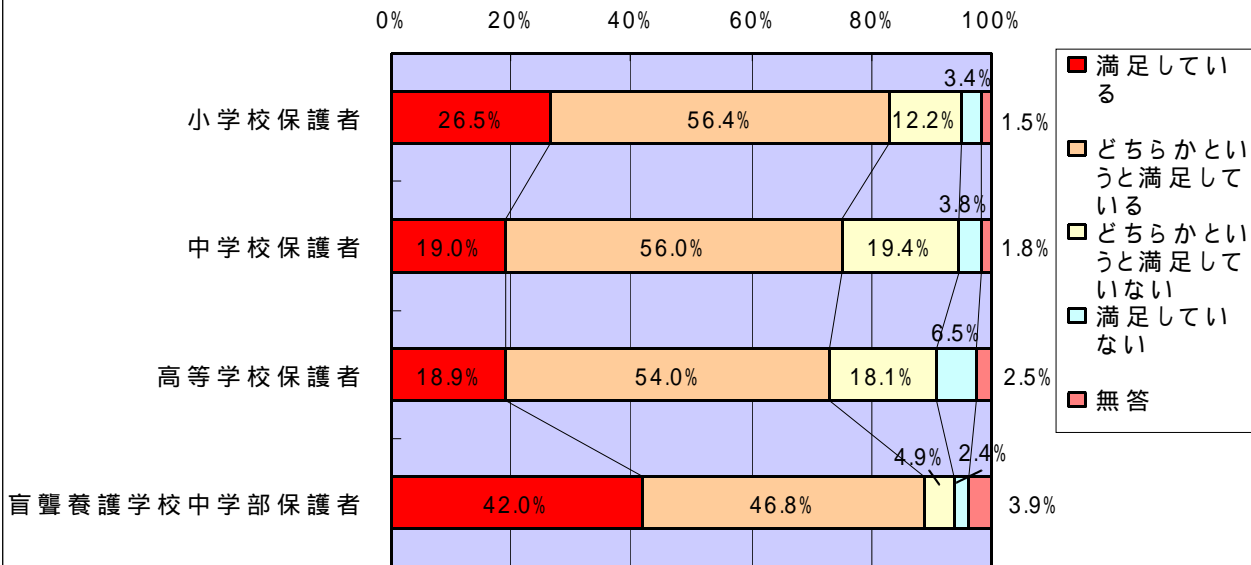
この設問における満足度は、中保護者、高保護者に、やや低い傾向がみられる一方、特に、盲聾養護学校において保護者に十分な満足を提供していることがうかがえる。学校の雰囲気や職員の対応、また、子供にかかわる事情等で抱く保護者の抵抗感等を払拭する配慮や工夫が求められる。

参考：【クロス集計：Q12「いじめや友だち同士のトラブルへの対応」】

Q14 学校の教育方針や教育活動の様子を保護者に伝えること

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q14 学校の教育方針や教育活動の様子を保護者に伝えること



小保護者では、「満足している」という回答は、全体の1/4を超え、「どちらかという満足している」という肯定的な回答を合わせると8割を超える。保護者が満足している傾向にある。否定的な回答は、約15%みられる。

中保護者では、「満足している」が、2割弱で、全体の半数以上が回答している「どちらかという満足している」を合わせると全体の3/4が肯定的な回答となっている。一方で、「どちらかといえば満足していない」とする回答が2割近く、「満足していない」を合わせると2割を超える。

高保護者は、だいたい中保護者と同じ傾向にある。「満足している」が、約19%で、54%の「どちらかという満足している」を合わせると7割を超える保護者が肯定的な回答をしている。一方で、否定的な回答は約25%と全体のおよそ1/4になる。「満足していない」という回答が6.5%と他の校種より2倍近く多い。

盲聾養護保護者は、「満足している」という回答が4割を超え、他の校種より多い。「どちらかという満足している」と合わせると9割近くになり、保護者が満足している傾向にある。

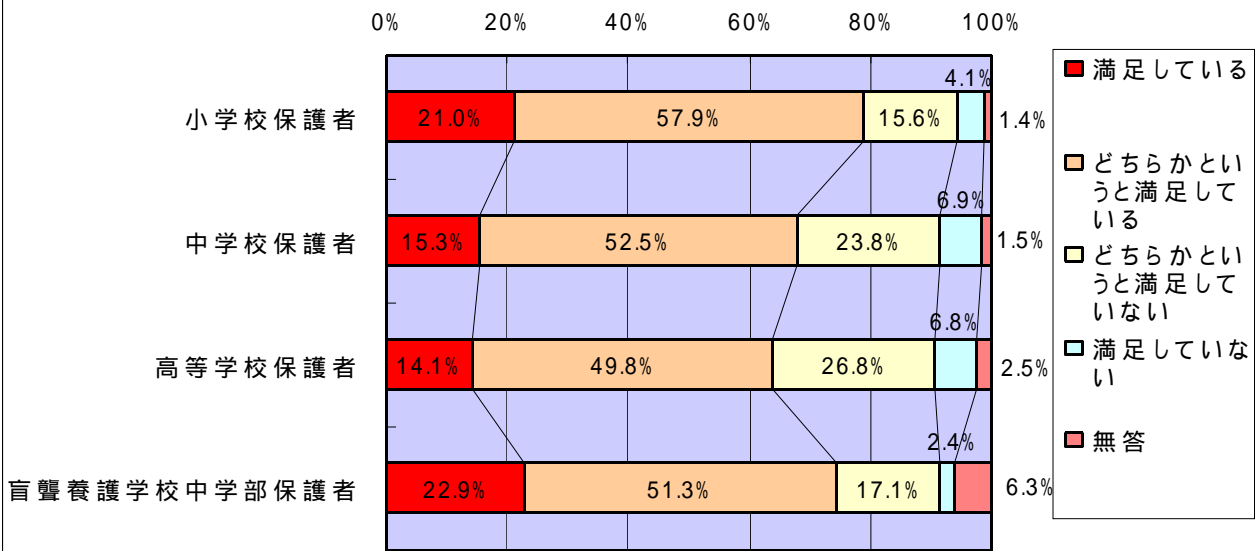
この設問における満足度は、小保護者及び盲聾養護保護者は8割を超え、特に盲聾養護保護者における「満足している」割合が高いが、中保護者及高保護者については、やや低い傾向がみられる。現在の取り組みについて点検し、満足度をさらに向上させる工夫が必要である。

参考：【関連資料：担任Q6「学校が発信する情報を家庭がきちんと受け止めていると思うか」】

Q15 保護者へ情報を提供したり、地域の人声を聞いたりすること

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

Q15 保護者へ情報を提供したり、地域の人声を聞いたりすること



小保護者では、「満足している」という回答は、21%、「どちらかという満足している」という肯定的な回答を合わせると8割近い。保護者がおおむね満足している傾向にある。否定的な回答は、2割近くみられる。

中保護者では、「満足している」が、約15%と小保護者よりやや少ない。「どちらかという満足している」を合わせても7割に届かない。一方で、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせると3割を超える。

高保護者は、「満足している」が約14%で、全体の半数が回答している「どちらかという満足している」を合わせても6割を超える程度が肯定的な回答をしている。一方で、否定的な回答は約33%と全体のおよそ1/3になる。

盲聾養護学校保護者は、「満足している」という回答が約23%と他の設問の回答より大幅に少なくなっている。「どちらかという満足している」と合わせても8割に及ばず、小保護者より少ない傾向にある。

この設問における満足度は、小保護者及び盲聾養護学校保護者は8割近い回答であるが、中保護者及び高保護者については、やや低い傾向がみられる。現在の保護者への情報提供の在り方や地域の声の受け止め方・生かし方等を再点検し、改善の手だてを考えていくことが必要である。

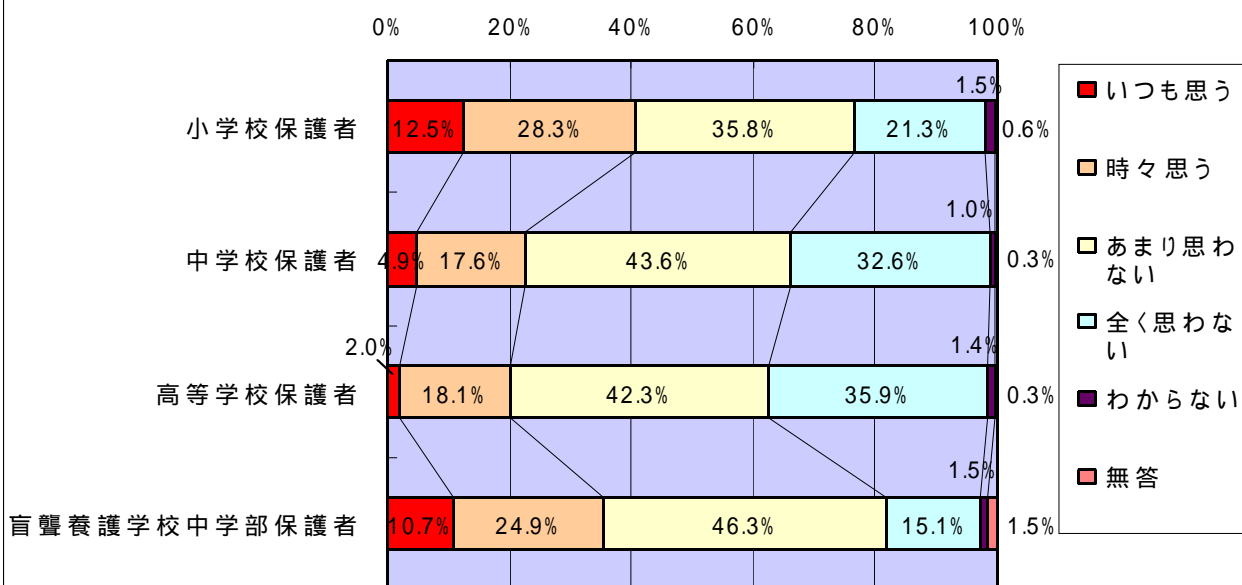
4 現在、完全学校週5日制により、毎週土曜日が休みになっています。このことについて、次の質問にお答えください。

小・中・高・盲聾養

Q16 土曜日が休みになったことで、「以前よりも家族で出かけたり、遊んだりすることが多くなったなあ」と思いますか？

- 1 いつも思う
- 2 時々思う
- 3 あまり思わない
- 4 まったく思わない
- 5 わからない

Q16 土曜日が休みになったことで「以前よりも家族で出かけたり、遊んだりすることが多くなったなあ」と思いますか



小保護者では「いつも思う」が12.5%、「時々思う」という肯定的な回答を合わせても全体の4割程度である。「あまり思わない」「全く思わない」という否定的な回答は、合わせると約57%になり、否定的な回答傾向である。

中保護者では、さらに肯定的な回答が減少し、「いつも思う」「時々思う」を合わせても2割を超える程度である。一方で、「あまり思わない」「全く思わない」という回答は、75%を超え、全体の3/4の保護者が否定的な回答をしている。

高保護者は、「いつも思う」が2%、「時々思う」を合わせても全体の2割程度が肯定的な回答である。「あまり思わない」「全く思わない」という否定的な回答は、合わせると約78%になり、全体の3/4を超える保護者が否定的な回答をしている。

盲聾養護保護者は、小保護者に近い回答傾向である。肯定的な回答は約35%、否定的な回答は約60%と肯定的な回答を上回っている。

全体的に、否定的な回答が1/2~3/4を占め、特に中保護者、高保護者の否定的な割合が大きい。土曜日の過ごし方について、校種により違いが想定されることから、まず実態を把握して見る必要があると思われる。

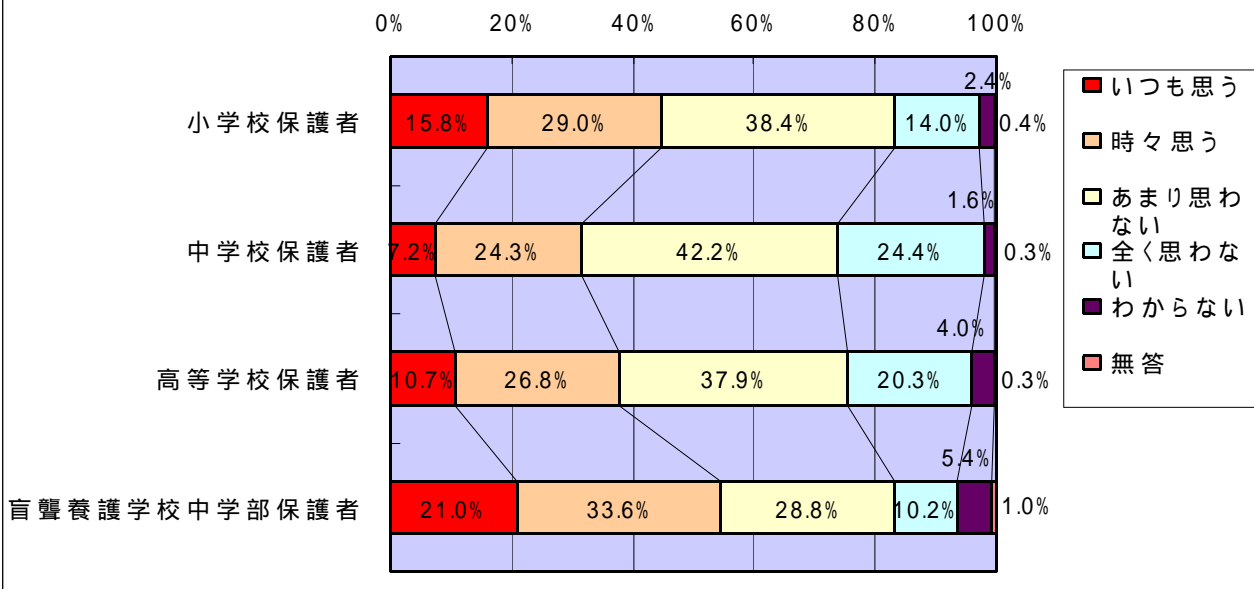
参考：【関連資料：児童生徒Q16「土曜日が休みになったことで、以前よりも家族で出かけたり、遊んだりすることが多くなったなあ、と思うか」】

小・中・高・盲聾養

Q17 土曜日が休日となったことにより、子供の生活に時間的なゆとりができましたか？

- 1 いつも思う
- 2 時々思う
- 3 あまり思わない
- 4 まったく思わない
- 5 わからない

Q17 完全学校週5日制により、土曜日が休みになったことで、子供の生活に時間的なゆとりができましたか



小保護者では「いつも思う」が約16%、「時々思う」という肯定的な回答を合わせても約45%と半数に届かない。「あまり思わない」が4割近くみられ、「全く思わない」と合わせると否定的な回答は約52%と半数を超え、否定的な回答の傾向がみられる。

中保護者では、「いつも思う」が小保護者の約半分の7.2%、「時々思う」を合わせても3割を超える程度である。一方で、「あまり思わない」「全く思わない」という回答は、合わせて約67%と、全体の2/3の保護者が否定的な回答をしている。

高保護者は、中保護者より肯定的な回答が若干多い。「いつも思う」が10%を超え、「時々思う」を合わせると、約37%が肯定的な回答である。「あまり思わない」「全く思わない」という否定的な回答は、合わせると約57%であり、否定的な回答が多い。

盲聾養護保護者は「いつも思う」が2割を超え、「時々思う」という回答を合わせると、全体の半数を超える。一方、「あまり思わない」「全く思わない」と合わせると否定的な回答は約4割となる。

全体的に否定的な回答傾向にある。肯定的な回答が否定的な回答を上回っているのは盲聾養護保護者の回答だけである。前問Q16と同様に、土曜日の過ごし方について、実態を把握してみることが求められる。

参考：【クロス集計：Q18「完全学校週5日制は、あなたのお子さんや家庭にとってよかったと思うか」】

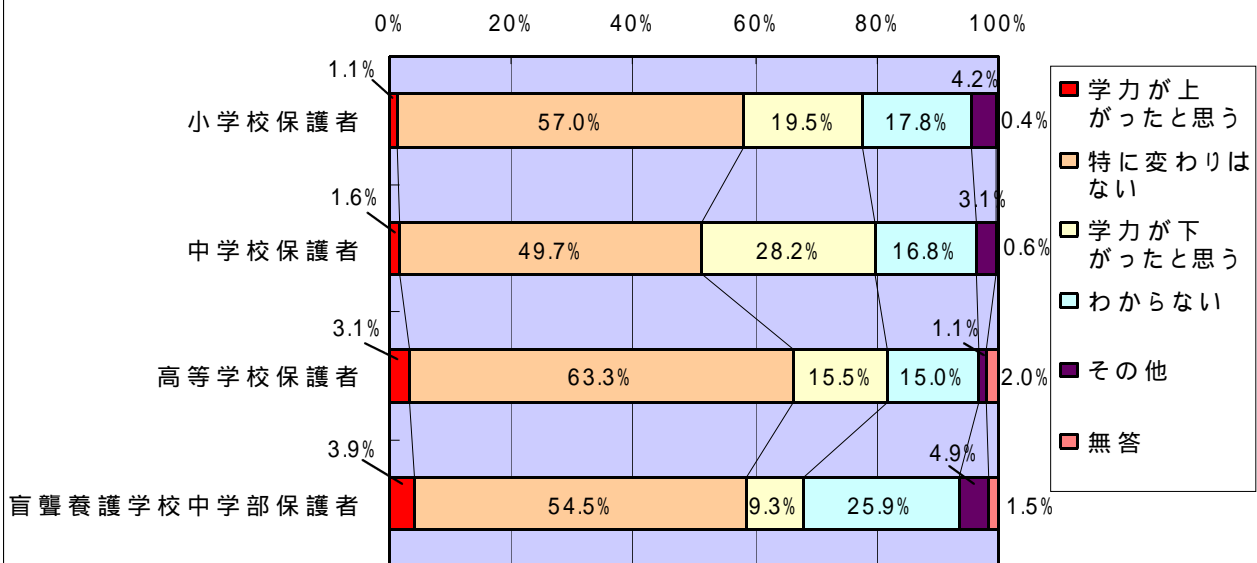
【関連資料：児童生徒Q16「土曜日が休みになったことで、以前よりも家族で出かけたり、遊んだりすることが多くなったなあ、と思うか」】

小・中・高・盲聾養

Q19 完全学校週5日制等による学力への影響について、いろいろな論議がなされていますが、お子さんをご覧になって、どう感じていますか？なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「5 その他の内容」に簡単にお書きください。

- 1 学力が上がったと思う
- 2 特に変わりはない
- 3 学力が下がったと思う
- 4 わからない
- 5 その他()

Q19 完全学校週5日制等による学力への影響について、お子さんをご覧になって、どう感じていますか



小保護者では、「特に変わりなし」という回答が57%をしめ、「下がった」とする約2割の回答を大きく上回っている。(その他:「理解より授業が先に進む」「授業に余裕がない」「勉強時間や内容が減った」「ゲームの時間が増えた」等)

中保護者では、「特に変わりなし」が全体の半数近くで、「下がった」という回答を大きく上回っている。(その他:「部活動の時間が増えた」「授業に余裕がない」等)

高保護者は、「特に変わりなし」という回答が60%を超え、「上がった」を合わせると、全体の2/3を超える。「下がった」とする回答は、約16%と小保護者の回答より少なくなっている。(その他:「部活動の時間が増えた」「ゆとりがなく負担が増えている」等)

盲聾養護保護者は、「特に変わりなし」が約55%、「下がった」という回答は、9.3%と少ない結果となっている。(その他:「金曜日の行事が増えた」「行事が減った」等)

全体的に、5日制等による学力への影響は特に感じられないという回答傾向にある。「下がった」という否定的な回答は、中保護者に目立っている。どの校種とも「わからない」という回答が比較的多い。

参考:【クロス集計: Q10「基礎的な学力をつけるための適切な学習指導をすること」

Q18「完全学校週5日制は、あなたのお子さんや家庭にとってよかったと思うか」】

【関連資料: 保護者Q10「基礎的な学力をつけるための適切な学習指導をすることに満足しているか」

【関連資料: 担任Q25「週5日制等による学力への影響についてどう感じているか」】

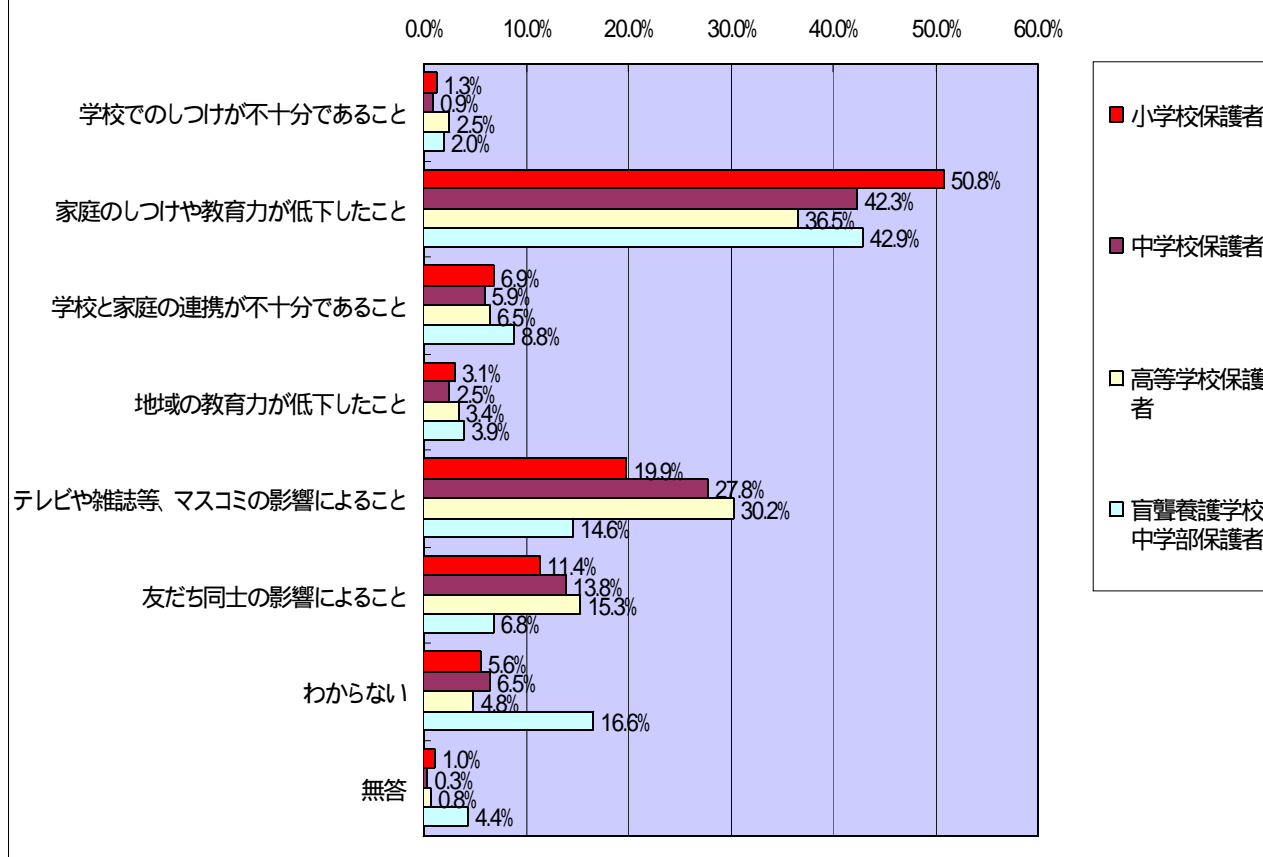
5 子育てや家庭生活などについて、次の質問にお答えください。

小・中・高・盲聾養

Q20 子供たちの判断の仕方や生活・行動でよくない姿が見られる時、その主な原因は何だと思えますか？次の中から、あなたの考えに一番近いものを一つ選んでお答えください。

- 1 学校での指導が不十分であること
- 2 家庭のしつけや教育力が低下したこと
- 3 学校と家庭の連携が不十分であること
- 4 地域の教育力が低下したこと
- 5 テレビや雑誌等、マスコミの影響によること
- 6 友だち同士の影響によること
- 7 わからない

Q20 子供たちの判断の仕方や生活・行動でよくない姿が見られる時、その原因は何だと思えますか



小保護者では、「家庭のしつけや教育力の低下」が全体の回答の半数を占め、次いで「テレビや雑誌等の影響」とする回答が約20%、「友だち同士の影響」が約11%となっている。

中保護者では、「家庭のしつけや教育力の低下」が約42%で一番多く、「テレビや雑誌等の影響」とする回答が約28%、「友だち同士の影響」が約14%となっている。

高保護者は、「家庭のしつけや教育力の低下」が約37%で一番多いが、「テレビや雑誌等の影響」とする回答が約30%と、他の校種ほどの差はない。

盲聾養護保護者は、「家庭のしつけや教育力の低下」が約43%で中保護者とほぼ同じ割合となっている。次いで、「テレビや雑誌等の影響」とする回答が約15%であるが、他の校種と比較して少ない割合である。「わからない」という回答が約17%となっている。

全体的に、「家庭のしつけや教育力の低下」とする回答が突出して多い傾向にある。

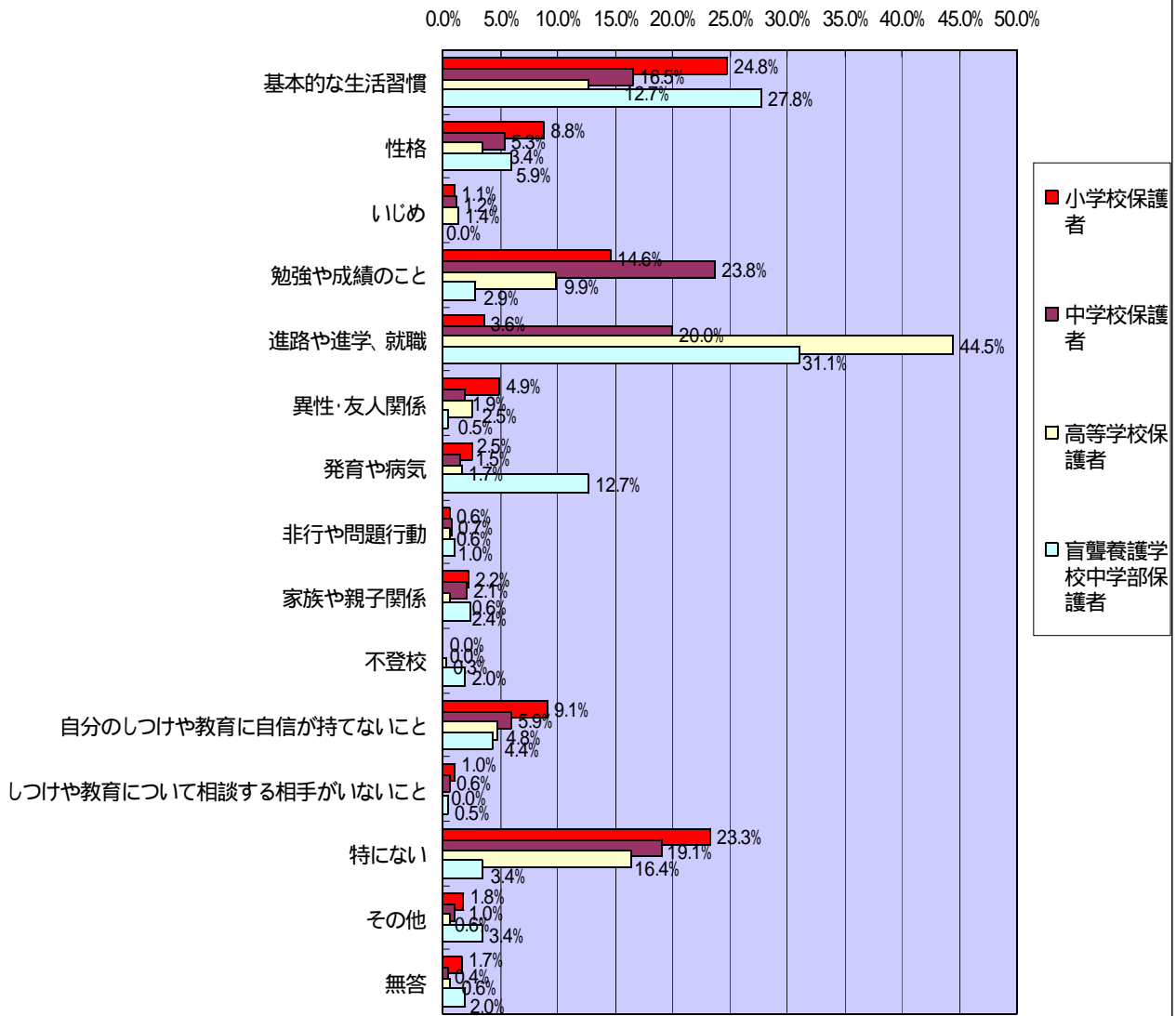
参考：【関連資料：担任Q10「子供たちのよくない姿が見られる時の原因は何だと思うか」】

小・中・高・盲聾養

Q21 お子さんのしつけや教育について、最も悩んでいることは何ですか？次の中から、二つ選んでお答えください。なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「14 その他の内容」に簡単にお書きください。

- 1 基本的な生活習慣 2 性格 3 いじめ 4 勉強や成績のこと
 5 進路や進学、就職 6 異性・友人関係 7 発育や病気 8 非行や問題行動
 9 家族や親子関係 10 不登校 11 自分のしつけや教育に自信がもてないこと
 12 しつけや教育について相談する相手がいないこと 13 特にない 14 その他()

Q21 しつけや教育について、最も悩んでいることは何ですか



回答が20%以上の項目をあげてみると、小保護者は「基本的な生活習慣（24.8%）」、中保護者は「勉強や成績のこと（23.8%）」、「進路や進学、就職（20.0%）」、高保護者は「進路や進学、就職（44.5%）」、盲聾養護保護者も「進路や進学、就職（31.1%）」、「基本的な生活習慣（27.8%）」となり、さらに盲聾養護保護者では「発育や病気（12.7%）」も高い割合を示すなど、校種の特性が表れた結果となっている。小保護者の傾向として「性格（8.8%）」、「異性・友人関係（4.9%）」、「自分のしつけや教育に自信が持てないこと（9.1%）」など、他の校種より割合が多い項目が目につく。

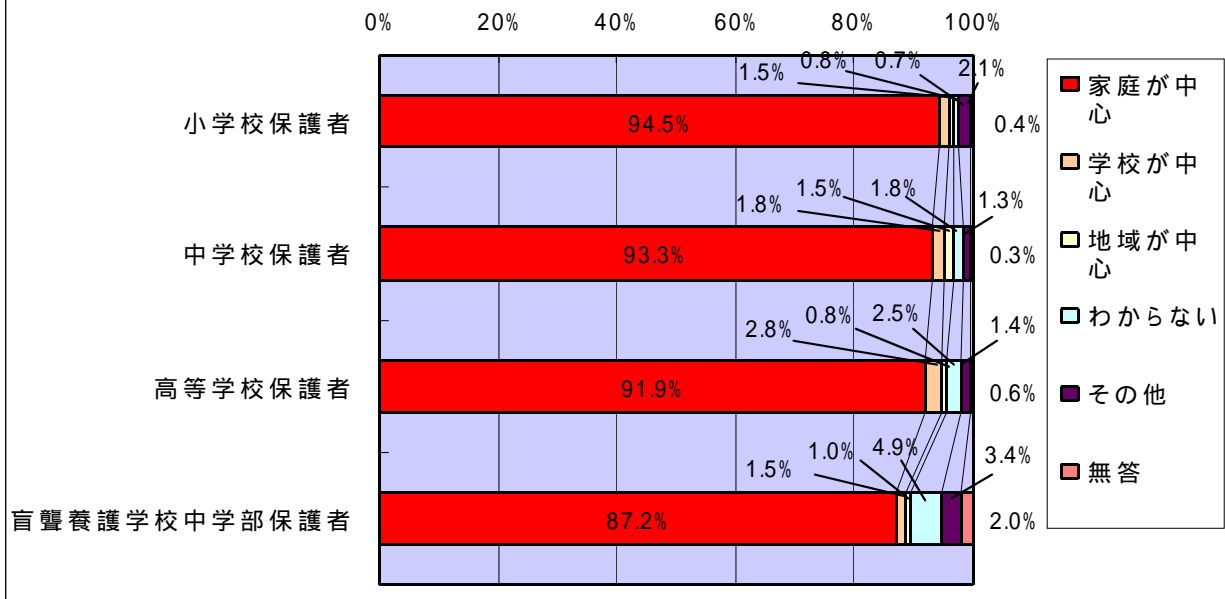
その他の内容として、小保護者は「ほとんどすべての項目」「社会的な秩序の乱れ」等、中保護者は「反抗期の接し方」等、高保護者は「携帯電話に関すること」等、盲聾養護保護者は「障害からくる態度や行動」「思春期のイライラ」「将来のこと」「身体のこと」等がみられる。

小・中・高・盲聾養

Q22 子供のしつけは、どこが中心となって行うものと考えますか？次の中から、あなたの考えに近いものを一つ選んでお答えください。なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「5 その他の内容」に簡単にお書きください。

- 1 家庭が中心 2 学校が中心 3 地域が中心
4 わからない 5 その他（ ）

Q22 子供のしつけは、どこが中心となって行うものと考えますか



小保護者、中保護者、高保護者、盲聾養護者とも、割合に多少の差はあるが、全体の傾向として、「家庭が中心」とする回答がほとんどである。小保護者、中保護者、高保護者では9割を超え、盲聾養護者も9割近い回答がみられる。

高保護者では、「学校が中心」という回答が2.8%みられ、小保護者及び盲聾養護者の1.5%、中保護者の1.8%を上回っている。

盲聾養護者では、「わからない」とする回答が約5%みられる。

その他の内容として、どの校種においても「学校と家庭」が一番多く、他に、「学校、家庭、地域すべて」という回答がみられる。

全体的に、「家庭が中心」という回答傾向であり、校種による差はほとんどみられない。

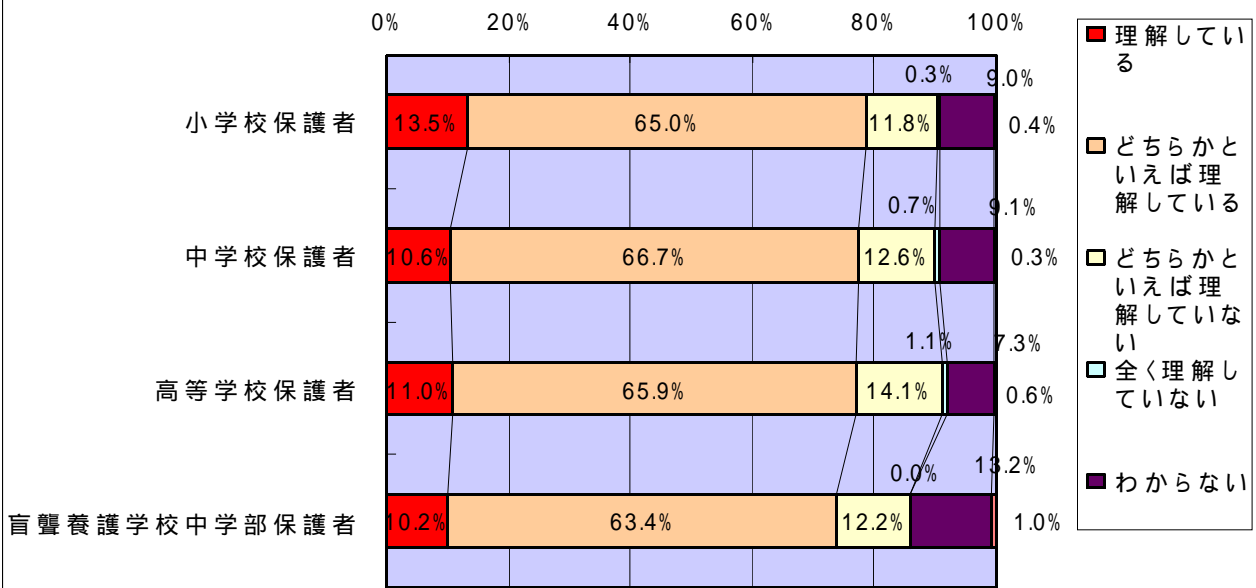
家庭において、「しつけ」がきちんとなされているか、また、家庭で考える「しつけ」と学校が考える「しつけ」に違いはあるか等、「しつけの内容」とともに、子供たちの「しつけ」の実態について調べていくことが求められる。

参考：【関連資料：担任Q11「子供のしつけは、どこが中心となって行うものと考えるか」

Q23 あなたは、お子さんの気持ちをよく理解している方としますか？

- 1 理解している
- 2 どちらかといえば理解している
- 3 どちらかといえば理解していない
- 4 まったく理解していない
- 5 わからない

Q23 あなたは、お子さんの気持ちを理解していると思いますか



小保護者では、「理解している」という回答が、約14%、「どちらかといえば理解している」という回答を合わせると8割に届かない。「どちらかといえば理解していない」という回答は1割みられ、全体的に子供の気持ちを理解していると思っている保護者が多い。

中保護者では、「理解している」が1割で、「どちらかといえば理解している」を合わせても8割に満たない。「どちらかといえば理解していない」という回答は、小保護者よりやや多く12.6%となっている。

高保護者は、中保護者に近い傾向がみられる。「理解している」「どちらかといえば理解している」という回答を合わせると、8割弱である。「どちらかといえば理解していない」という回答は、中保護者より少し増えて14.4%である。

盲聾養護保護者は、「理解している」「どちらかといえば理解している」を合わせると約73%と他の校種よりやや少なくなっている。

全体的に肯定的な回答傾向にあるが、「理解している」という割合は低い。「どちらかといえば理解している」という弱い肯定的な回答が多くを占めることから、子供の気持ちの理解について、十分に自信がないがうかがえる。

参考：【クロス集計：Q24「子育ての場としての今の家庭状況に満足しているか」

Q25「子供をよくほめるか」

Q26「子供を叱るとき、子供の説明や理由をきいているか」】

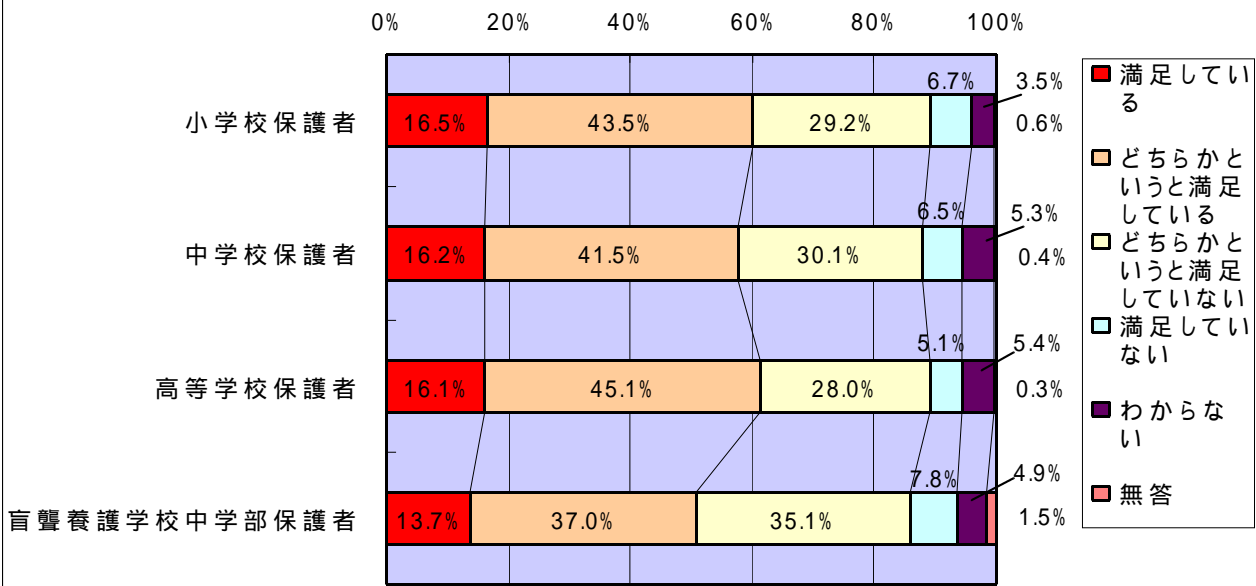
【関連資料：児童生徒Q22「家族は、あなたの気持ちをよく理解していると思うか」】

小・中・高・盲聾養

Q24 子育ての場としての家庭を考えた時、あなたは、今の家庭の状況に満足していますか？

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 まったく満足していない
- 5 わからない

Q24 子育ての場としての家庭を考えた時、あなたは、今の家庭の状況に満足していますか



小保護者では「満足している」という回答が16.5%、「どちらかといえば満足している」という肯定的な回答を合わせると6割程度である。「どちらかといえば満足していない」という回答が3割近くみられ、「満足していない」と合わせると、全体の1/3を超える。

中保護者でも小保護者に近い傾向がみられる。「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせても6割に満たない。「どちらかといえば満足していない」「満足していない」という回答は、小保護者よりやや多く36.6%となっている。

高保護者も、小保護者に近い傾向がみられる。「満足している」「どちらかといえば満足している」という回答を合わせると、6割弱である。「どちらかといえば満足していない」「満足していない」という回答は、小保護者よりやや少なく約33%程度となっている。

盲聾養護保護者は、「満足している」という回答が他の校種よりやや少なく「どちらかといえば満足している」を合わせても、全体のおよそ半数である「どちらかといえば満足していない」「満足していない」という回答は、合わせて4割を超え、他の校種より多い。

全体的にみると、6割程度の保護者が、今の家庭状況に満足しているが、盲聾養護保護者では、肯定的な回答と否定的な回答の差が小さい。満足していないという内容について、可能な限り把握し、学校としてフォローできる部分があれば協力していくことも必要であると思われる。

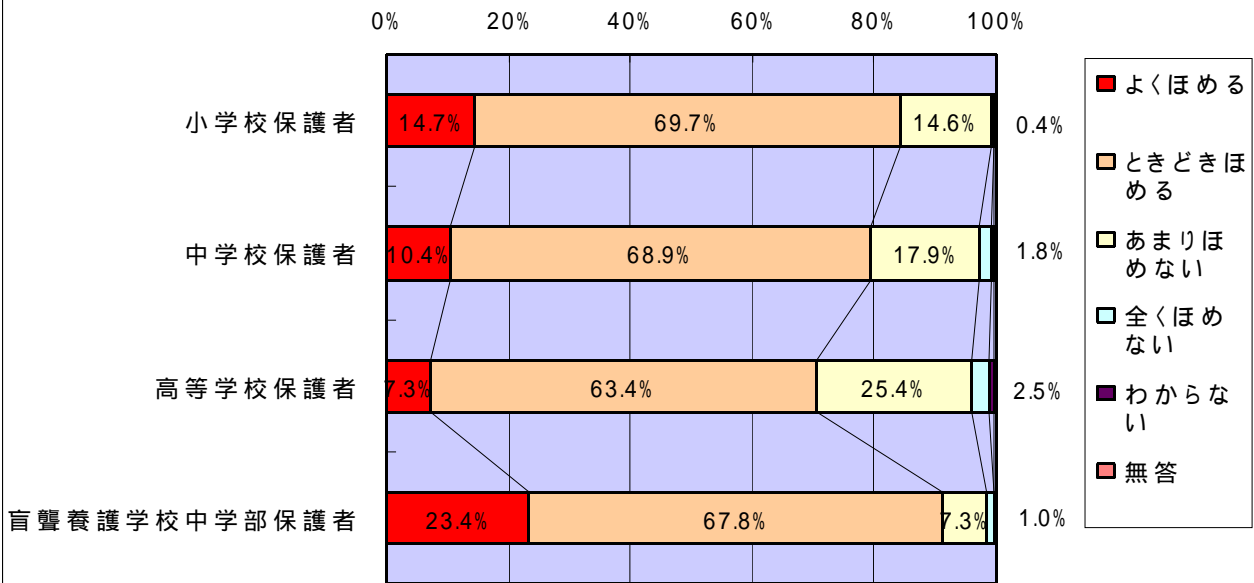
参考：【クロス集計：Q23「子供の気持ちをよく理解していると思うか」】

【関連資料：児童生徒Q23「今の家庭生活が楽しいと思うか」】

Q25 あなたは、お子さんをよくほめていますか？

- 1 よくほめる 2 時々ほめる 3 あまりほめない
4 まったくほめない 5 わからない

Q25 あなたは、お子さんをよくほめていますか



小保護者では、「よくほめる」という回答が14.7%で、「ときどきほめる」という肯定的な回答を合わせると8割を超える。「あまりほめない」という否定的な回答は約15%程度で、おおむねほめる傾向にあるといえる。

中保護者では、「よくほめる」が1割程度、「ときどきほめる」を合わせると8割程度である。小保護者より「あまりほめない」という回答が増え、約18%であるが、おおむねほめる傾向にある。

高保護者では、「よくほめる」という回答が減り7.3%、「ときどきほめる」という回答を合わせると、7割程度である。「あまりほめない」という否定的な回答は、全体の1/4を超え、他の校種より多い。

盲聾養護学校は、「よくほめる」という回答が23.4%と多く、「ときどきほめる」を合わせると、9割を超える。

全体的にみると、盲聾養護学校をはじめとして、子供をほめる傾向にあるが、小保護者、中保護者、高保護者と進むにつれて、否定的な回答も増えている。「ほめる」ことの効果について再確認し、担任等と連携しながら、その効果を生かしていくことが求められる。

参考：【クロス集計：Q23「子供の気持ちをよく理解していると思うか」】

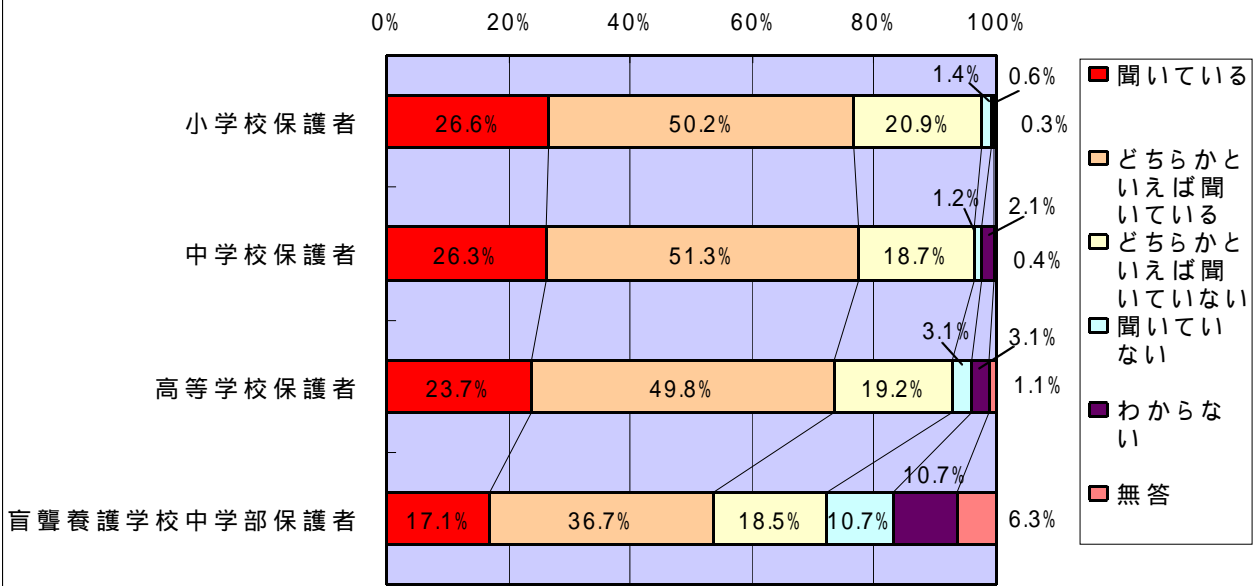
【関連資料：児童生徒Q24「家族は、よくほめてくれるか」】

小・中・高・盲聾養

Q26 あなたは、お子さんを叱るとき、お子さんの説明や理由をきいていますか？

- 1 聞いている
- 2 どちらかといえば聞いている
- 3 どちらかといえば聞いていない
- 4 聞いていない
- 5 わからない

Q26 あなたは、お子さんを叱る時、お子さんの説明や理由を聞いていますか



小保護者では、「聞いている」という回答は、26.6%みられ、「どちらかといえば聞いている」という肯定的な回答を合わせると8割近い割合となっている。一方、2割を超える回答が、否定的な内容となっている。

中保護者では、小保護者と似た傾向がみられる。「聞いている」が26.3%、どちらかといえば聞いている」という回答を合わせると8割近い割合となり、小保護者を若干上回る。

高保護者では、「聞いている」という回答が小・中保護者よりやや少ないが約24%あり、5割程度の「どちらかといえば聞いている」という回答を合わせると、7割を超える。否定的な回答は、合わせて2割を超える。

盲聾養護学校は、「聞いている」「どちらかといえば聞いている」という回答を合わせると、5割を超えるが、他の校種と比較すると、肯定的な回答が少ない。

全体的にみると、小・中・高保護者においては、7～8割が子供の説明や理由を聞いているという回答をしているが、盲聾養護学校ではその割合が少ない。子供の話を聞くことで、自己反省が促されるとともに、自分を尊重してくれるという意識も育ってくることから、子供にとって大切な時間であるといえる。

参考：【クロス集計：Q23「子供の気持ちをよく理解していると思うか」】

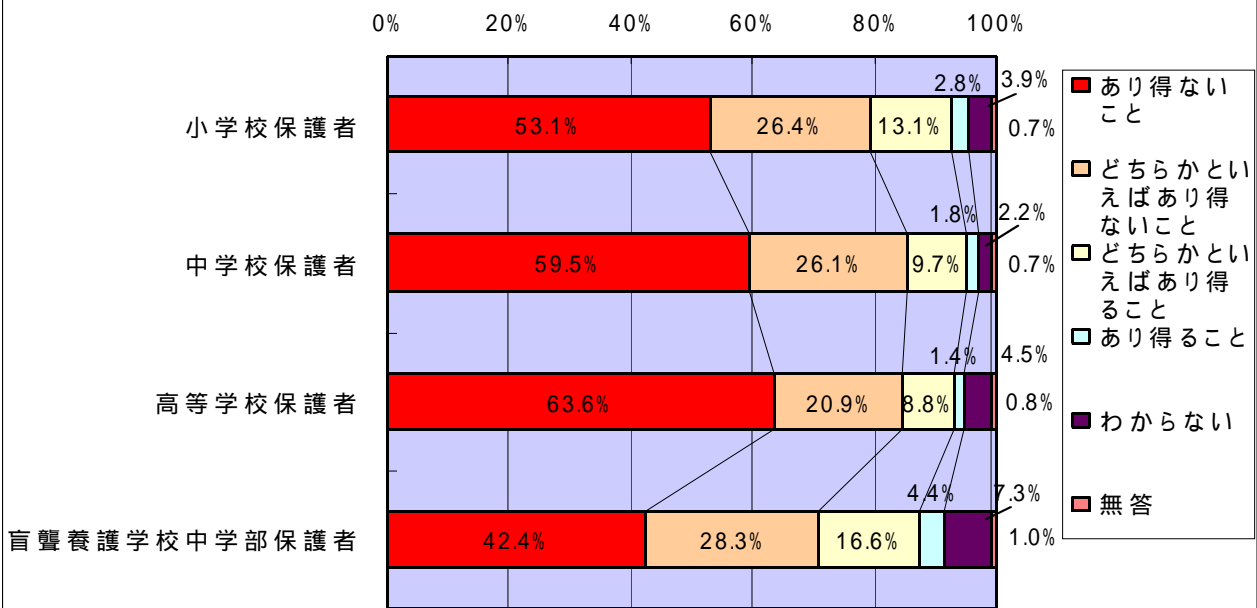
【関連資料：児童生徒Q25「家族があなたを叱るとき、説明や理由を聞いてくれるか」】

小・中・高・盲聾養

Q27 最近、新聞やテレビ等でたびたび報道されている児童の虐待について、自分を振り返ったとき、どう思いますか？次の中から、あなたの考えに近いものを一つ選んでお答えください。

- 1 あり得ないこと
- 2 どちらかといえばあり得ないこと
- 3 どちらかといえばあり得ること
- 4 あり得ること
- 5 わからない

Q27 最近、テレビ等で報道されている児童の虐待について、自分自身を振り返った時、どのように感じますか



小保護者では、「あり得ない」という回答が53.1%、「どちらかといえばあり得ない」という否定的な回答を合わせると8割近い割合となっている。一方、約15%が、肯定的な内容となっている。

中保護者では、「あり得ない」という否定的な回答が59.5%、「どちらかといえばあり得ない」という回答を合わせると8割を超えている。一方、肯定的な回答は約1割程度と小保護者より少ない。

高保護者では、「あり得ない」という否定的な回答が63.6%と小・中保護者より多く、「どちらかといえばあり得ない」という回答を合わせると8割を超える。肯定的な回答も1割程度である。

盲聾養護保護者は、「あり得ない」という回答が42.4%と他の校種と比較して少なく、「どちらかといえばあり得ない」という否定的な回答を合わせても7割程度である。肯定的な回答は2割を超え、他の校種と比較しても多い傾向にある。

全体的にみると、盲聾養護保護者における「どちらかといえばあり得る」という回答が目につくが、おおむね否定的な回答傾向がみられる。

参考：【関連資料：児童生徒Q26「今まで、厳しい叱られ方をしたことがあるか」】

担任Q4「家できびしく叱られたり、暴力を受けたりしていると思われる子」】

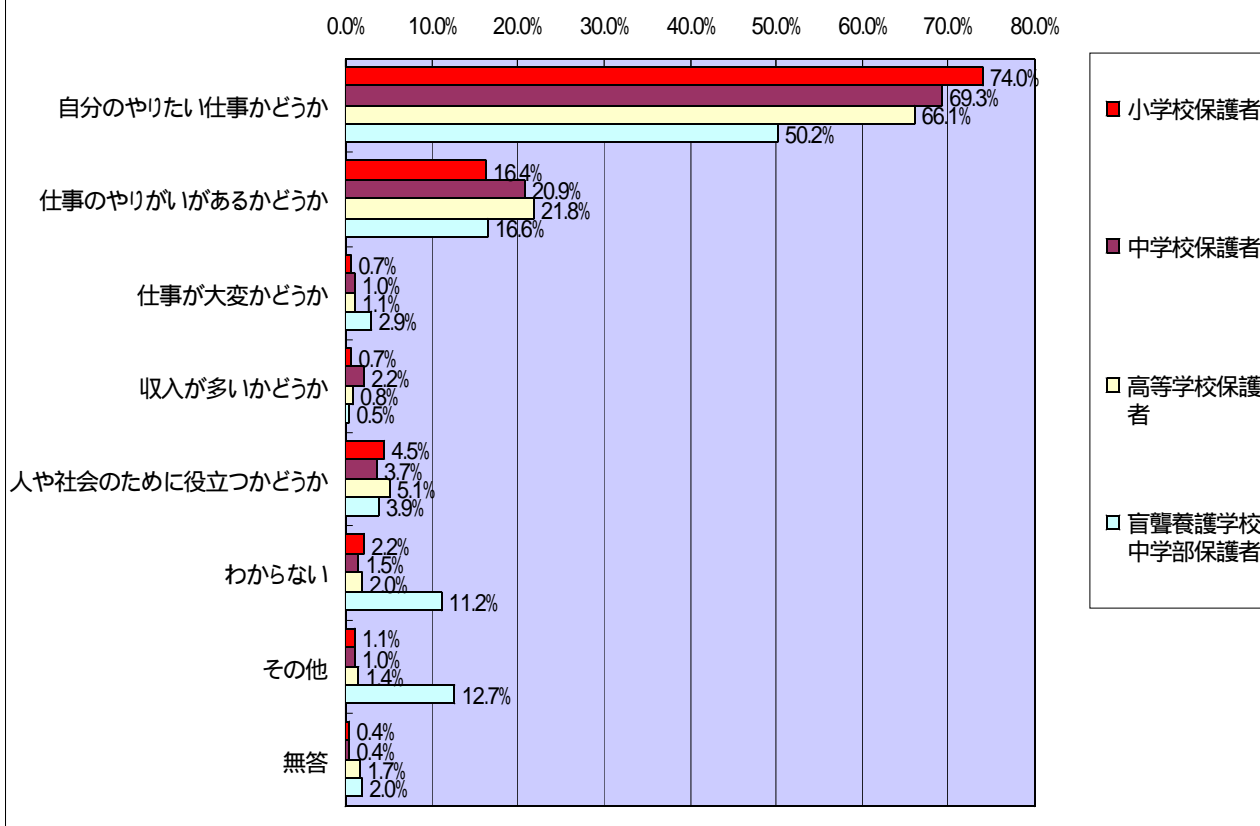
6 あなたのお子さんの将来の職業について、次の質問にお答えください。

小・中・高・盲聾養

Q28 あなたのお子さんが、将来の仕事を選ぶとしたら、次のどの内容を最も大切に考えて選んでほしいと思いますか？次の中から、あなたの考えに近いものを一つ選んでお答えください。なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「7 その他の内容」に簡単にお書きください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 自分のやりたい仕事かどうか | 2 仕事のやりがいがあるかどうか |
| 2 仕事が大変かどうか | 4 収入が多いかどうか |
| 5 人や社会のために役立つかどうか | 6 わからない |
| 7 その他() | |

Q28 あなたのお子さんが将来の仕事を選ぶとしたら、どの内容を最も大切に考えて選んで欲しいと思いますか



すべての校種の保護者が、「自分のやりたい仕事かどうか」を一番にあげている。特に、小・中・高保護者においては、7割前後の保護者が選択している。

2番目は「仕事のやりがいがあるか」という項目を、やはりすべての校種の保護者があげている。

3番目も共通して「人や社会のために役立つかどうか」をあげている。

盲聾養護者の回答には、「仕事が大変かどうか(2.9%)」が他の校種より多い傾向がみられる。また、盲聾養護者に、その他の回答が多いのも特徴である。

その内容として、小保護者は「会社の安定性」「好きなことや得意なことを生かすこと」等、中保護者は「会社の安定性」「長く勤められるか」等、高保護者は「生活できる収入か」「会社の安定性」等、盲聾養護者は「自立してできるか」「他人と一緒にできるか」「やれる仕事か」「やりたい仕事か」、また、「就業は難しい」「受け入れ先があるかどうか」などがみられる。

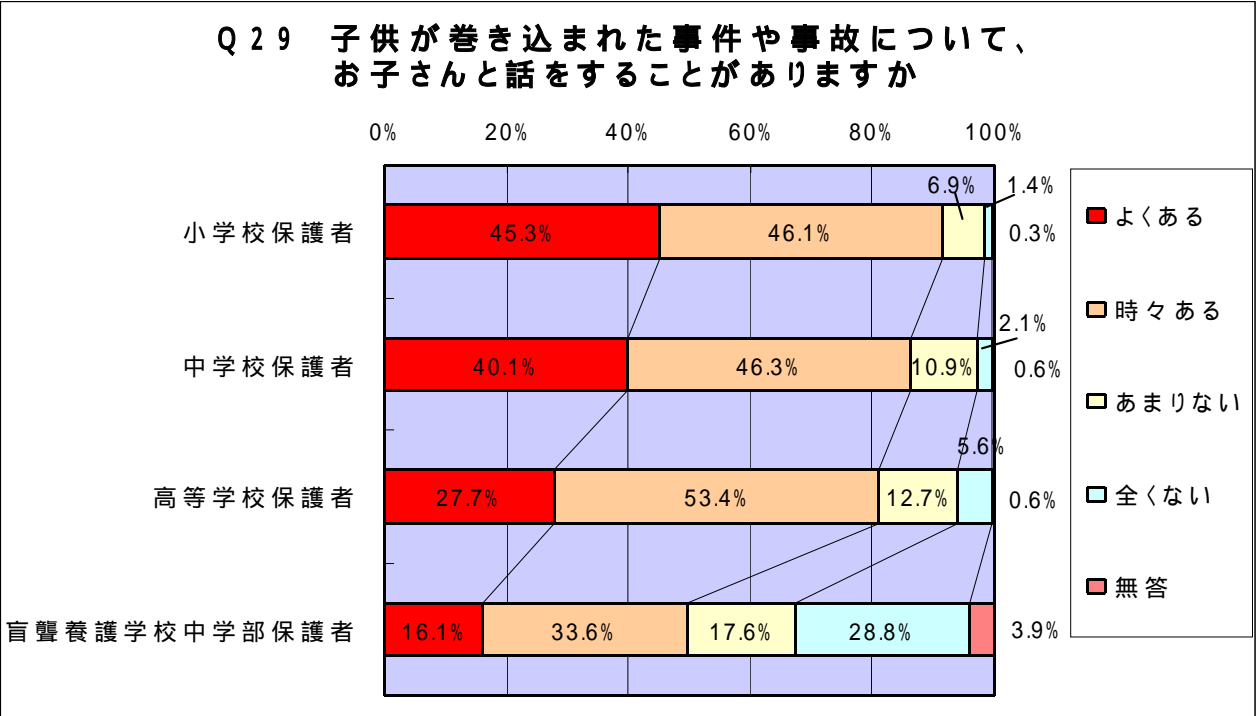
参考：【関連資料：児童生徒Q28「将来の仕事を選ぶとしたら、次のどの内容を最も大切に考えて選ぶか」】

7 最近、新聞やテレビで報道された、子供が巻き込まれた事件や事故にかかわって、次の質問にお答えください。

小・中・高・盲聾養

Q29 子供が巻き込まれた事件や事故について、お子さんと話をすることができますか？

1 よくある	2 時々ある
3 あまりない	4 まったくない



小保護者では、「よくある」という回答は、45.3%、「時々ある」という肯定的な回答を合わせると9割を超えている。

中保護者では、「よくある」という回答が40.1%、「時々ある」という肯定的な回答を合わせると86.3%が肯定的な回答をしている。

高保護者では、「よくある」という回答が小・中保護者より少なく約28%であるが、「時々ある」という肯定的な回答を合わせると8割を超える。否定的な回答は、合わせて約18%である。

盲聾養保護者は、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答を合わせて5割ほどで、他の校種と比較すると、肯定的な回答が少ない。「あまりない」「全くない」という回答は、46%ほどになる。寄宿舎で生活している生徒等、適宜話をすることがない保護者もあり、校種の事情による面もある。

全体的にみると、小・中・高保護者においては、8割以上の保護者が、事件や事故などについて子供と話題にしていることがうかがえる。

参考：【クロス集計：Q30「事件や事故に巻き込まれないように、子供と約束したり、注意したりすることがあるか」】

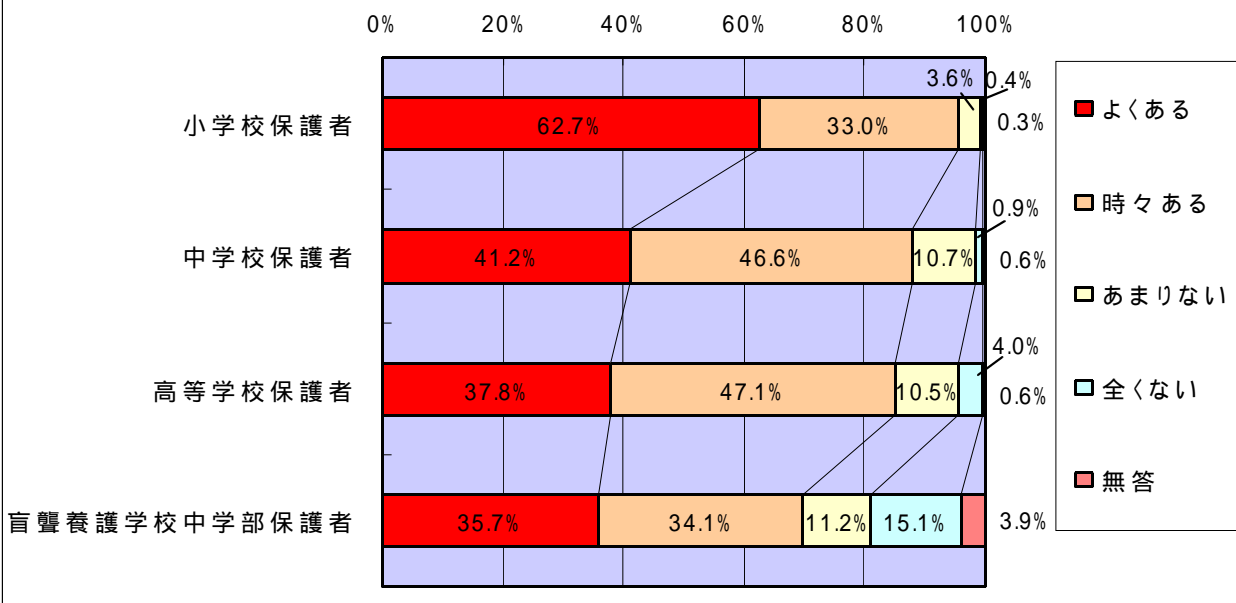
【関連資料：児童生徒Q29「子供が巻き込まれた事件や事故について、家族で話をすることができるか」】

小・中・高・盲聾養

Q30 事件や事故に巻き込まれないように、お子さんと約束したり、注意したりすることがありますか？

- 1 よくある
- 2 時々ある
- 3 あまりない
- 4 まったくない

Q30 事件や事故に巻き込まれないように、お子さんと約束したり、注意することがありますか



小保護者では、「よくある」という回答が62.7%と高い割合を示し、「時々ある」という回答を合わせると95%を超えている。

中保護者では、「よくある」が41.2%と、小保護者より低くなっているが、「時々ある」という回答を合わせると約88%と、肯定的な回答が多い。

高保護者では、「よくある」という回答が中保護者よりやや少なく約38%で、「時々ある」という回答を合わせると、8割を超えている。否定的な回答は、合わせて15%ほどである。

盲聾養護保護者は、「よくある」「時々ある」という回答を合わせて7割ほどで、他の校種より肯定的な回答がやや少ない。「あまりない」「全くない」という回答は、合わせて26%ほどになる。寄宿舍で生活している生徒等、適宜話をする機会がない保護者もあり、校種の事情による面もある。

全体的にみると、小・中・高保護者においては、8割以上の保護者が、何らかの約束事や注意等をしており、特に小保護者の割合が高い。

参考：【クロス集計：Q29「子供が巻き込まれた事件や事故について、子供と話をすることがあるか」】

【関連資料：児童生徒Q30「先生や家族に注意されたことは必ず守ろうと思うか」
担任Q16「学級の乱れ：学校や学級の決まりを守らない子供」】